

第五次釜石市総合計画

「スクラムかまいし21プラン」

後期基本計画

平成20年度施策評価 (進捗状況)

平成21年8月

釜 石 市

目 次

	ページ
1. 施策評価について	1
2. 『19の施策』の総合評価	3
3. 『19の施策』の個別評価について	4
①施策ごとの総括	6
②指標の一覧	34
4. 「優先プロジェクト」の指標による評価	41

1. 施策評価について

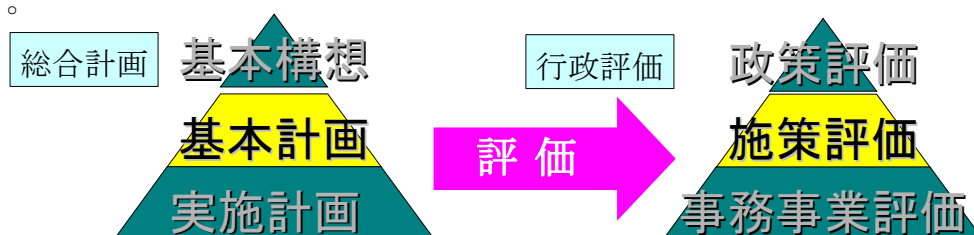
(1) 釜石市の行政評価について

①目的

近年、市政運営にあたっては財政の効率化や透明性、施策の選択といったことが求められているため、市民に対する説明責任を果たすとともに、民間経営の手法を取り入れた、成果を重視した効率的な行政経営の推進を図るため導入しました。

②行政評価と釜石市総合計画

市の行財政運営の最高指針である総合計画はおおまかに「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つの段階でできており、これをそのままに評価したものが、行政評価です。「政策評価」「施策評価」「事務事業評価」の3つの階層でできているということになります。



	導入時期	内 容
事務事業評価	H 18 年度	H 16・17 年度で試行実施、H 18 年度に本格実施。 総合振興審議会において市民評価を実施。
施策評価	H 20 年度	H 19 年度に試行実施、H 20 年度から本格実施。
政策評価	H 22 年度	H 21 年度に試行し、H 22 年度に本格実施予定。

(2) 施策評価について

①目的

- ・施策評価により事業や業務を見直し、効率的で効果的な市政の実現を目指す。
- ・ホームページ等で公表することにより、行政の透明性や市民への説明責任の確保。
- ・職員が事業の目的や成果を再認識することにより業務改善を図る。

②方法

第五次釜石市総合計画(後期基本計画)において基本目標の実現手段として掲げた19の施策を対象として「主要な指標」の達成状況をもとに内部評価し総合振興審議会委員の意見を取り入れて作成します。(意見は、総合評価と各施策の「総合振興審議会委員の主な意見」欄に記載してあります。

※指標は平成20年度の実績で評価していますが、審議会委員からいただいた委員意見については現状の視点も含めた意見となっております。

③施策の体系 (施策体系表…次ページ)

第五次釜石市総合計画では21世紀初頭の望ましい姿を「人と技術が輝く海と緑の交流拠点」と展望しており、それを具体化するための基本目標を3つ、その基本目標の実現手段として政策が6つ、そして更にそれを実現するための手段として19の施策を掲げており、施策評価はこの基本目標の実現手段である19の施策(施策1)を評価するものとします。

第五次釜石市総合計画後期基本計画施策体系

基本目標	政策	施策1	施策2	主要な指標
1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち	1 活力ある産業のまちづくり	① 効率的な土地利用	効率的な土地利用	No.1
		② 産業の振興	活力を生み出す工業の振興	No.2～6
			新鮮で安全な魚を供給する水産業の振興	No.7～13
			豊かな暮らしを支える農林業の振興	No.14～23
			まちのにぎわいを創る商業の振興	No.24～26
			個性と能力を生かして働ける環境の充実	No.27～29
	③ 新しい産業の創出	新しい産業の創出	No.30	
	2 にぎわいのあるまちづくり	④ 交流人口の創出	地域の資源を生かす観光の振興	No.31～34
			交流・連携のまちづくり	No.35
		⑤ 魅力あるまちなみの整備	魅力あるまちなみの整備	No.36～38
			交流を支える幹線道路の整備	No.39
		⑥ 交流基盤の強化	活気とうるおいのある港湾の整備	No.40～43
			地域の情報化の推進	No.44～45
2 すべての人に優しい快適なまち	3 健康で安心して暮らせるまちづくり	⑦ 健康づくりの充実	健康の増進と疾病予防	No.46～50
			地域医療の充実	No.51
		⑧ 福祉サービスの充実	地域で支えあう福祉のまちづくり	No.52～53
			子どもを健やかに育む環境づくり	No.54～56
			高齢者が暮らしやすいまちづくり	No.57～61
			障害者が自立して参加できるまちづくり	No.62～65
	⑨ 生活の安全確保	災害に強いまちづくり	No.66～73	
		安全な市民生活	No.74～75	
	4 快適な環境のまちづくり	⑩ 自然環境の保全	環境の継承とふれあいの創造	No.76～78
			快適な住まいの環境づくり	No.79～82
		⑪ 生活環境の充実	生活衛生の向上	No.83～88
			⑫ 交通ネットワークの整備	暮らしを支える道路網の整備
公共交通体系の整備	No.92～93			
3 創造性豊かな人を育むまち	5 学び育てるまちづくり	⑬ 学校教育の充実	学校教育の充実	No.94～96
		⑭ 社会教育の充実	社会教育の充実	No.97～99
		⑮ 芸術・文化の振興	芸術・文化の振興	No.100～102
		⑯ 生涯スポーツの振興	生涯スポーツの振興	No.103～105
	6 参画する心を育むまちづくり	⑰ 住民参加の地域づくり	住民参加の地域づくり	No.106～108
		⑱ 男女共同参画の推進	男女共同参画の推進	No.109
		⑲ 国際交流の推進	国際交流の推進	No.110

2. 『19の施策』の総合評価

順調に推移

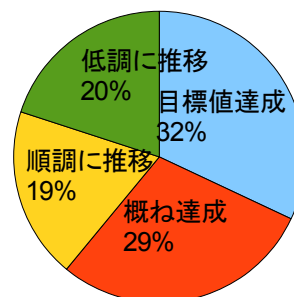
主要な指標のうち平成22年度の目標値に対して「目標値達成」「概ね達成」「順調に推移」の3つの割合が80%であるので、順調に推移と評価します。

この施策評価については、第五次釜石市総合計画の19の施策ごとに設定している「主要な指標」について、平成20年度実績値の平成22年度(第五次総合計画の最終年度)目標値への達成状況により評価しました。

○ 「主要な指標」の目標値の達成状況

「主要な指標」の評価対象(99件)のうち、目標値を達成した指標は31件32%、「概ね達成」した指標は29件29%、順調に推移したものは19件19%、低調に推移したものは20件で20%となっております。なお、達成状況については、下記一覧の区分によって、達成割合(%)によりそれぞれ分けています。

達成状況	区 分	件数	割合
目標値達成	100%以上	31	32%
概ね達成	80%以上100%未満	29	29%
順調に推移	60%以上80%未満	19	19%
低調に推移	60%未満	20	20%



※ 後期後期基本計画の「主要な指標」は110件ですが、H20年度実績が集計されていない指標については評価対象外とし、残りの99件を評価対象とします。

○ 「19の施策」ごとの目標値達成状況

「19の施策」ごとの指標の達成状況については、「順調に推移」以上が89%となっております。ただし、「低調に推移」の施策が約1割となっているので、平成22年度の目標達成へ向けて課題を解消して施策の展開を図るものとします。

達成状況	区 分	件数	割合
目標値達成	「目標値達成」の指標が100%以上の施策	3	16%
概ね達成	「概ね達成」以上の指標が80%以上の施策	5	26%
順調に推移	「順調に推移」以上の指標が60%以上の施策	9	47%
低調に推移	「低調に推移」の指標が40%より大きい施策	2	11%
合 計		19	100%

総合振興審議会委員の主な意見

- ・全体的には各施策とも順調に推移していると思う。
- ・進捗が低調な項目については、課題を明確にし、具体的な取り組みをすべきである。
- ・現在の経済状況下では、市民の実感として低調感が漂っている感じがする。
- ・私たち市民ももっと関心を持って行政と関わっていかねばならないと思った。

3. 『19の施策』の個別評価について

「19の施策」に設定された「主要な指標」に基づき、「指標の一覧」(P34～P40)において指標の達成状況の取りまとめを行い、それをもとに「施策ごとの総括」(P6～P33)を作成しています。

3-① 施策ごとの総括

基本目標：1にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：1 活力ある産業のまちづくり

施策1：①効率的な土地利用

施策の体系
(P2 参照)

施策評価：概ね達成

○施策の進捗状況・課題等

学校統合による跡地や市有地が、民有地を含めたま...
登記所に備え付けてある登記簿や公図等は、現地の相違が多...
正な課税等を行ううえで支障が生じる場合があります。現在、地籍調査の進捗率が39.9%となっ...
ており、早急に推進する必要があります。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/1指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	100%	(1/1指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/1指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/1指標)

○今後の施策の展開

土地の活用への動きの早い中妻町や新町等の密集住... 地籍調査を進めながら、山間...
地の調査も並行して推進し、土地取引の円滑化や行政の...
学校の統廃合や公共的施設の移転等による未活用...
の整備や強化した港湾機能なども踏まえて、市民と...
また、市有地については、庁内に設置する「釜...
学校跡地等未利用地の有効活用に向けて検討

指標の達成状況による評価

目標値達成：「目標値達成」の指標が100%以上の場合
概ね達成：「概ね達成」以上の指標が80%以上の場合
順調に推移：「順調に推移」以上の指標が60%以上の場合
低調に推移：「低調に推移」の指標が40%より大きい場合

指標の達成状況だけでは、施策の進捗状況を全て表すことができません。それを補うために、それぞれの施策ごとに、進捗状況や課題等、今後の展開について記述しています。

当該施策の指標の達成状況の一覧とグラフ

総合振興審議会委員の主な意見

- ・小中学校跡地等未利用地の有効活用が必要である。
- ・まず土地利用の全体像を描くべきである。
- ・用途が決まるまでの短期的な利用方法についても検討を。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・指標はH20年度の実績で評価しておりますが、審議会委員からいただいた委員意見については現状の視点も含めた意見となっております。

指標のグラフ

- ・当該施策に設定された指標の折れ線グラフ。
- ・計画策定時の現在値からの実績値の推移とH22年度の目標値への達成状況を見ることができます。

3-② 指標の一覧

「施策ごとの総括」で評価の基とした「主要な指標」の一覧表です。施策の体系ごとの一覧表示しており、H20年度実績のH22年度目標値に対しての達成度を表示しております。

また、右欄には達成度の低い理由や今後の展開などを記載してあります。

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標【単位】	現状 (H16)	H18 実績	H19 実績	H20 実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	摘要	今後の展開や達成度の低い理由など
		効率的な土地利用	効率的な土地利用	1	地籍調査事業の進捗率【%】	31.9	36.6	38.8	39.9	48.9	42%	面積換算	
				2	製造品出荷額等【百万円】	87,305	100,764	111,806	22,937	93,599	13%	現状はH15	
				3	創造的技術開発・経営革新認定件数【件】	12	24	26	26	18	144%	目標値	
				4	異業種・企業間による研究開発実施件数【件】	8	10	10	11	11	100%	目標値	
				5	産学官共同研究企業数【社】	31	35	36	36	41	88%	目標値	
				6	新規就業者数(起業・誘致企業)【人】	149	230	242	242	500	48%	現状	経済動向や雇用情勢を注視しながら、当市の個性を活かした企業誘致活動を推進していきたい。
				7	大型魚種設置数【箇所】	6	6	6	6	9	67%	現状	魚種設置要望の減少

施策の体系 (P2 参照)

達成度

〇【主要な指標について】

第五次釜石市総合計画後期基本計画の「I 施策の展開」・第1編「各分野の施策の展開」(P16～P95)の中で、施策ごとに全部で110の「主要な指標」を設定しています。

下記は後期基本計画のP16・17にある「効率的な土地利用」の記載例です。

なお、19の施策に対する110の指標設定については施策ごとに一定の数ではないので、記載例のように指標が1つだけのものから、②「産業の振興」の施策のように28の指標があるものもあります。

第1編 各分野の施策の展開

基本目標
第1章 にぎわいと活力ある産業が展開するまち
第1節 活力ある産業のまちづくり
第1項 効率的な土地利用

1 効率的な土地利用

現在の状況と主要な課題

- 釜石市は、面積の大部分が山地に占められ、平地が少なく、中核部を形成するが、
- 狭い土地に、多量の人口が集中している。
- このため、都市計画による土地利用の最適化を図る必要がある。
- また、個人所有地や三層敷地が認められていないため、土地利用の最適化が図れない。
- さらに、当市は色別に出る。



施策の体系

効率的な土地利用

- 1 土地利用の基本的な考え方
- 2 創意的な土地利用の推進

施策の方向

- 1 土地利用の基本的な考え方

- 豊かな森林と水に恵まれた自然環境は、次々に減少し、自然環境が劣化する。

主要な指標	単位	現状と目標値			摘要
		現状	18年度	22年度	
1 地籍調査事業の進捗率	%	31.9	36.9	48.9	面積換算

注：マースタープラン（産業の振興）による目標値。

3-①施策ごとの総括

基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：1 活力ある産業のまちづくり

施策1：①効率的な土地利用

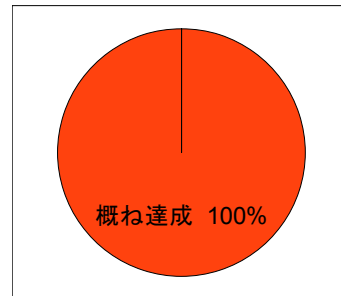
施策評価：概ね達成

○施策の進捗状況・課題等

学校統合による跡地や市有地及び民有地を含めた未活用地の有効活用が課題となっています。登記所に備え付けてある登記簿や公図等は、現地との相違が多く、土地取引や公共事業、適正な課税等を行ううえで支障が生じる場合があります。現在、地籍調査の進捗率が39.9%となっており、早急に推進する必要があります。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/1指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	100%	(1/1指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/1指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/1指標)



○今後の施策の展開

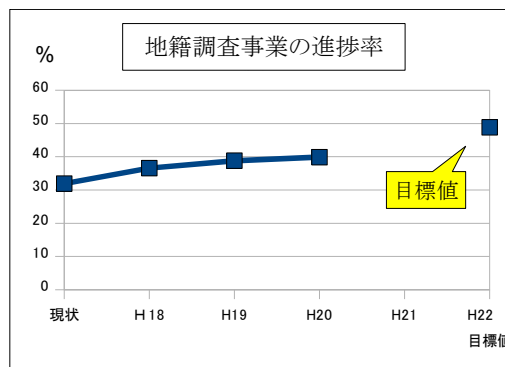
土地の利活用の動きの早い中妻町や新町等の密集住宅地区の地籍調査を進めながら、山間地の調査も並行して推進し、土地取引の円滑化や行政の効率化を図ります。

学校の統廃合や公共的施設の移転等による未活用地等について、今後の高規格幹線道路の整備や強化した港湾機能なども踏まえて、市民と連携して有効活用を図ります。

また、市有地については、庁内に設置する「釜石市土地建物利用検討委員会」において小中学校跡地等未活用地の有効活用に向けて検討します。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・小中学校跡地等未活用地の有効活用が必要である。
- ・まず土地利用の全体像を描くべきである。
- ・用途が決まるまでの短期的な利用方法についても検討を。



基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：1 活力ある産業のまちづくり

施策1：②産業の振興

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

産業支援機関である財団法人釜石・大槌地域産業育成センターを中核とした工業の振興策として、企業訪問を強化し、徹底した情報収集を行い、企業間の受発注の増等を目指した取り組みを行いました。

20年度末の有効求人倍率は、国が0.54倍、釜石が0.33倍と厳しい情勢が続いています。新規学卒者についても、地元就職率は36.6%と停滞しています。こうした中、緊急雇用対策本部を設置し、雇用の創出に取り組みました。また、振興資金の利子補給率を引き上げるなど支援制度を拡充しました。

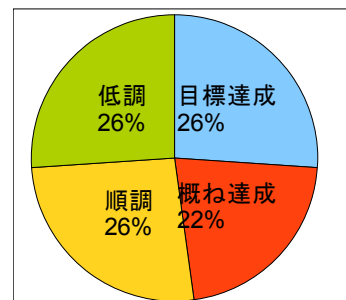
工業と並ぶ基幹産業の水産業は、市が管理する佐須漁港や仮宿漁港などの整備を進め、漁業生産基盤を強化しました。また、漁業関係団体と一体となり、廻来漁船誘致活動を実施したことなどにより、釜石魚市場の水揚げが増大し、地域経済の活性化が図られました。

産地づくり交付金等の助成実施により、担い手への作業受委託が増え、耕作放棄地増加防止に効果をあげつつあります。また、森林整備事業補助金や森林整備地域活動支援交付金等により、間伐や作業道整備など森林整備が図られました。

商業に関しては、商工会議所と連携し、経営基盤の強化を目指した取り組みを継続しています。しかし、商店数が減少し空き店舗が多くなっており、地元購買率も微減するなど商店街の魅力が低下傾向にあります。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	26%	(6/23指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	22%	(5/23指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	26%	(6/23指標)
低調に推移(60%未満)	26%	(6/23指標)



○今後の施策の展開

企業訪問等を通じて地場企業の経営資源、ニーズを的確に把握し、育成センター職員の一層のレベルアップによる育成センターの機能強化を図るとともに、大学等の研究機関や他の産業支援機関と連携し、地場企業のニーズに即した施策を展開します。

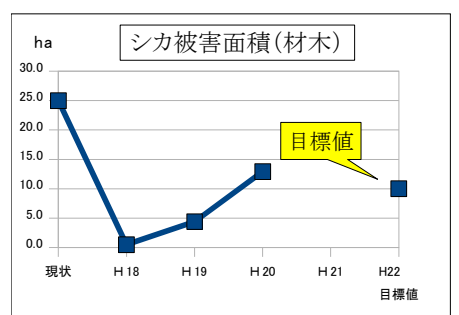
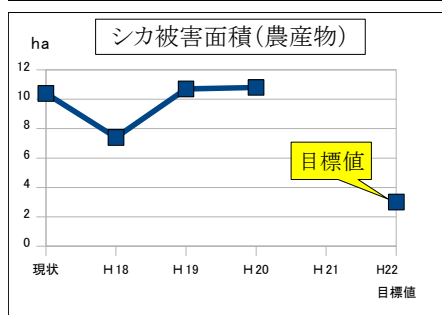
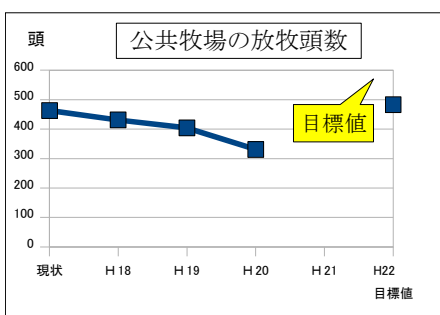
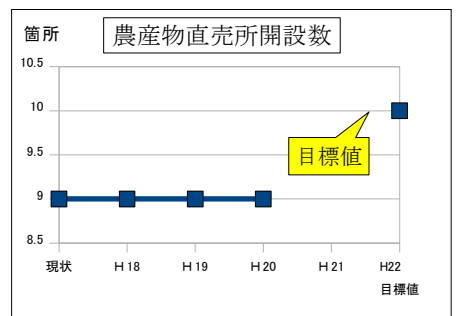
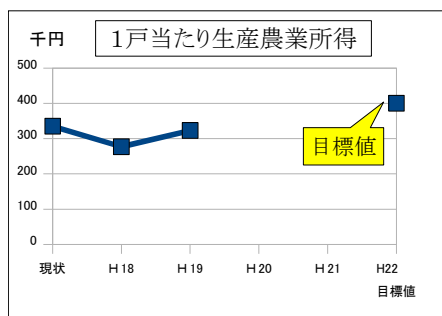
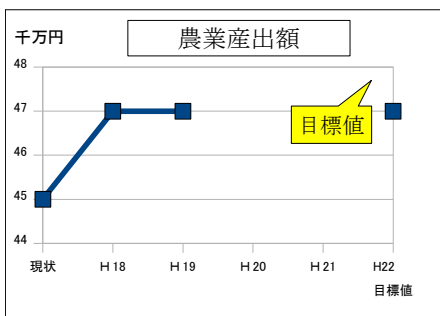
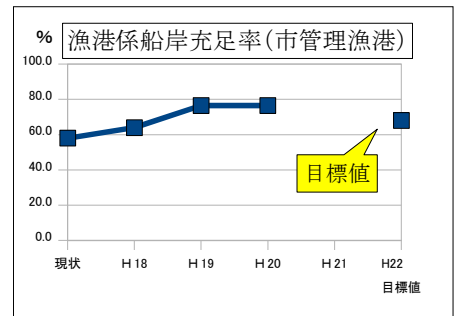
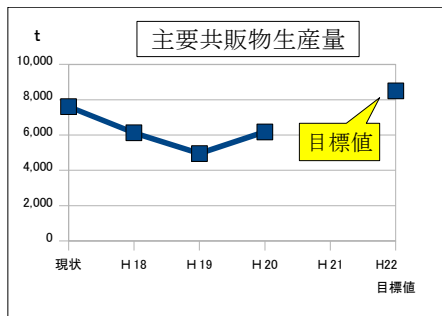
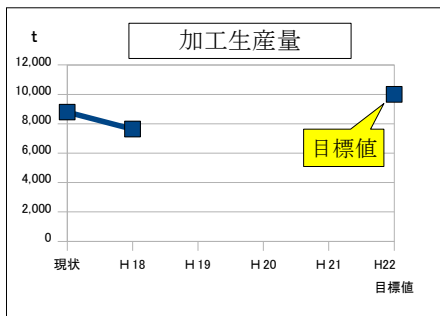
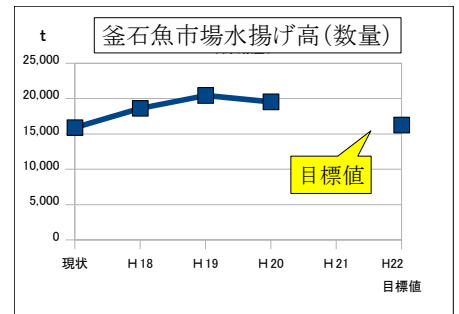
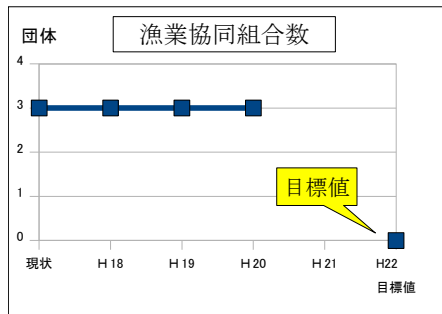
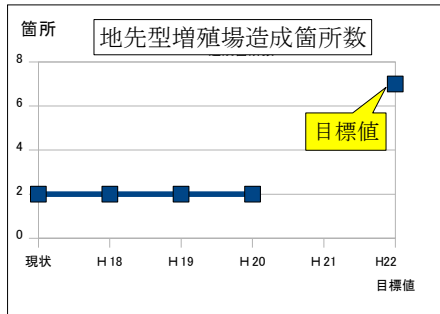
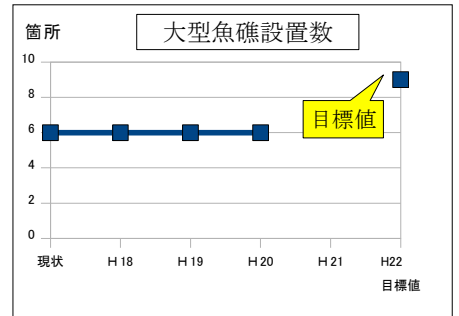
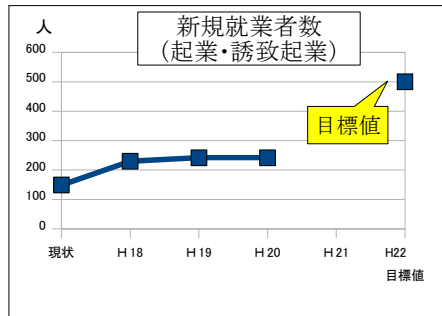
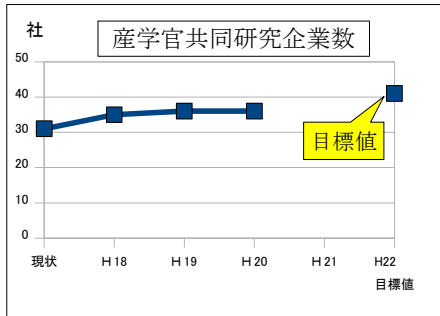
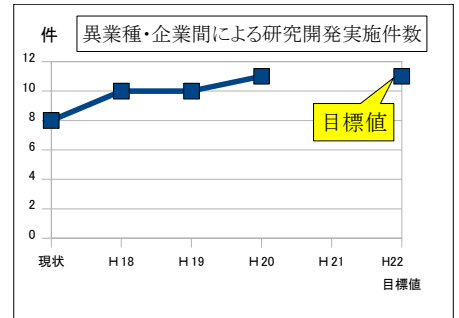
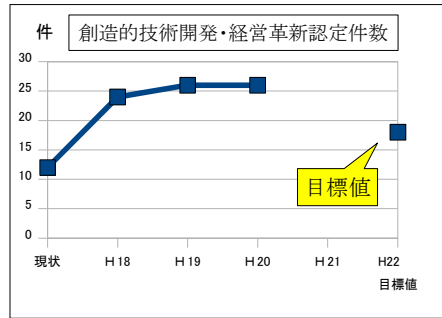
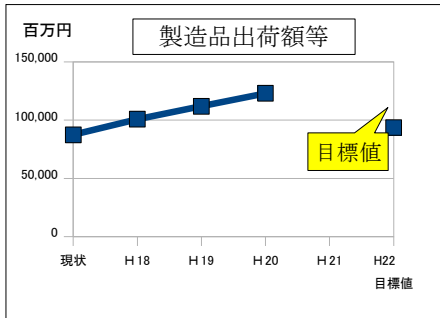
今後も漁業生産基盤の漁港等の整備を進めるとともに、新時代に対応した衛生的かつ機能的な新魚市場の整備については、釜石漁港全体の有効活用を図りながら取り組みます。また、「低調に推移」となった漁業協同組合数は合併を円滑に進めるため各漁協の財務改善を図ります。

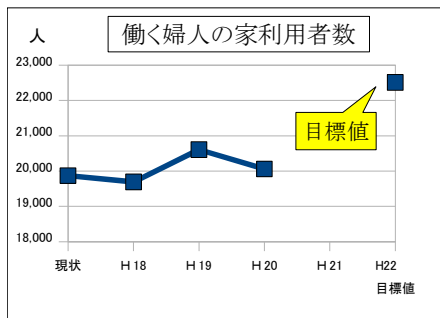
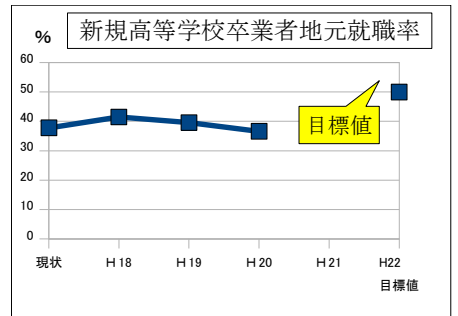
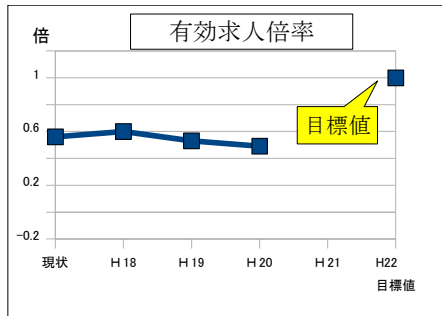
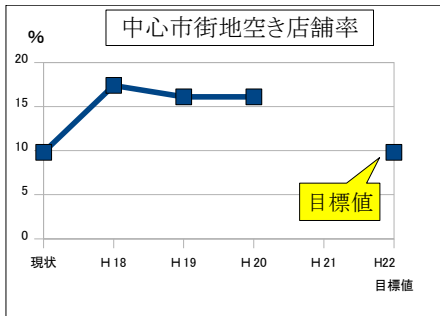
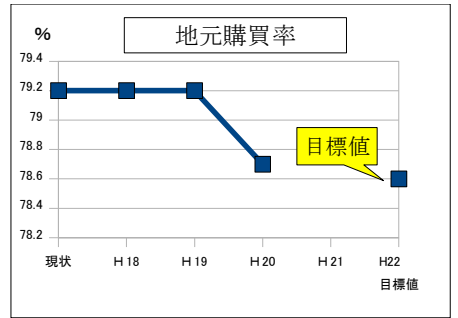
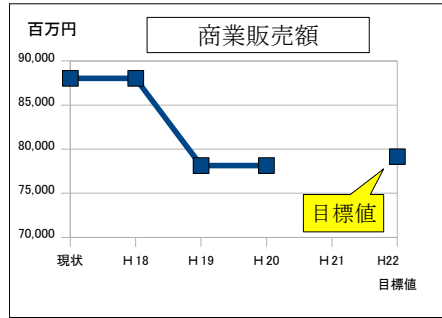
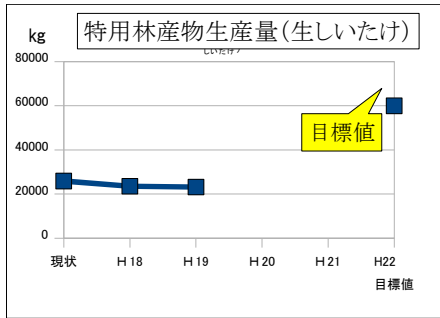
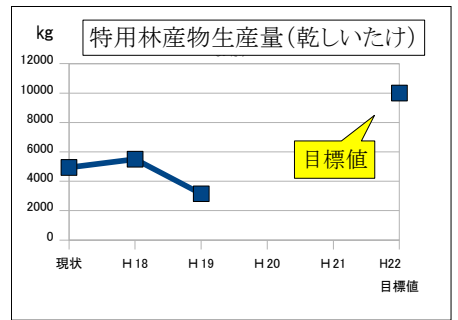
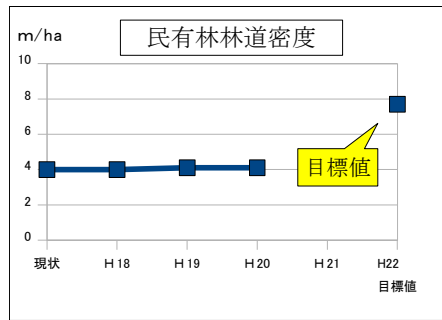
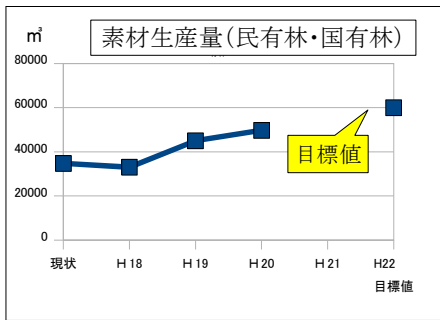
農業の作業受委託及び担い手支援については、定着又は更なる効果を上げるように、引き続き事業を展開します。森林施策計画を計画的に展開するとともに、岩手県や釜石地方森林組合と連携し森林整備を進めます。

商業の振興に関しては、商工会議所と連携しながら事業者の経営全般を支援するとともに、商店街活性化事業や魅力ある商店街整備事業などを通じて、地域全般の活性化を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・現在は、釜石だけではないが、全体的に低調で活気がない。効果的な施策を講じてほしい。
- ・指標と施策評価に隔たりを感じる。大胆な施策展開を期待する。





基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：1 活力ある産業のまちづくり

施策1：③新しい産業の創出

施策評価：目標値達成

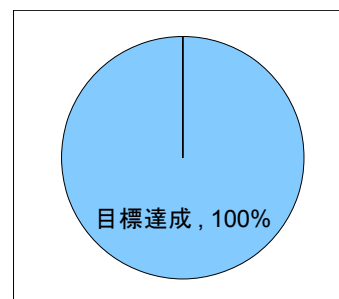
○ 施策の進捗状況・課題等

資源循環型社会の構築を目指した環境関連産業や、生体材料(新合金)による新たな素材産業など、高付加価値のある新産業の創出に取り組んでいますが、生体材料については、平成22年度を事業開始予定とした、実用化へ向けた準備が整いつつあります。

新たな産業の分野への進出を促進するため、新産業創出促進事業を実施しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	100%	(1/1指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/1指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/1指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/1指標)



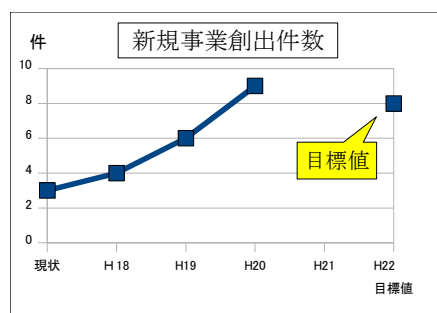
○ 今後の施策の展開

高付加価値の新産業の創出を引き続き促進する他、地域資源を活用した農商工連携等による新事業の創出を目指した施策を展開します。

生体材料事業については、工業用への進出を促進し、コバルト合金産業のクラスター化を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・実績が出ている「新しい産業」が全国的にも知られていない。もっとPRが必要である。
- ・新しい産業を創出し、雇用に結び付けていく、ねばり強い支援を期待する。
- ・並行して技術者づくりに取り組む必要がある。



基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：2 にぎわいのあるまちづくり

施策1：④交流人口の創出

施策評価：概ね達成

○ 施策の進捗状況・課題等

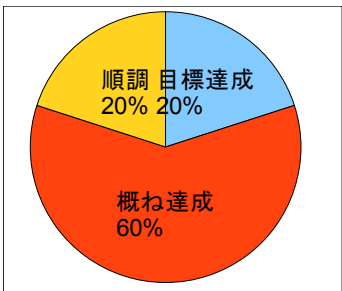
四季を通じた味覚まつりなど各種イベントを開催しましたが、2度の大きな地震の影響もあって、目標としていた観光客入込み数100万人には届きませんでした。中でも、屋外体験施設やキャンプ場の整備など、グリーン・ツーリズムへの取り組みを行った結果、体験者数が大きく伸びました。さらに地域を拡大するなど受け入れ態勢を整える必要があります。

鉄の歴史館の空調設備を更新するなどリニューアルに向けて取り組みました。

北東北地域連携軸構想推進協議会を通じた連携交流助成事業による秋田県横手市との出前かまぐららの交流事業(あったかメルヘン)が発展し、花巻市との足湯や山形県米沢市との物産による交流が生れており、すそ野の広がりを見せています。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	20%	(1/5指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	60%	(3/5指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	20%	(1/5指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/5指標)



○今後の施策の展開

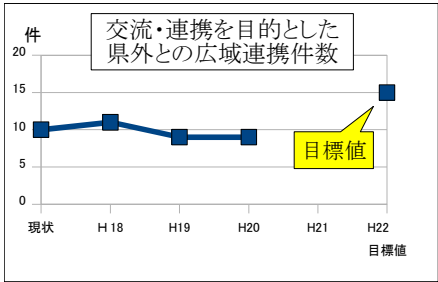
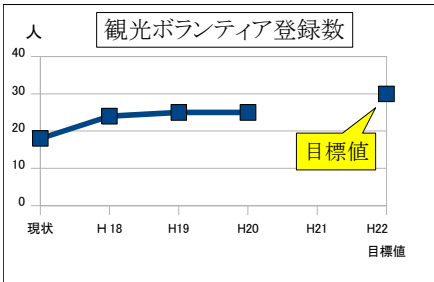
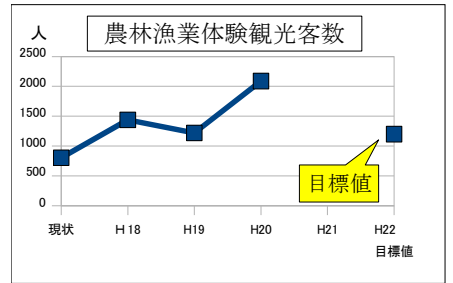
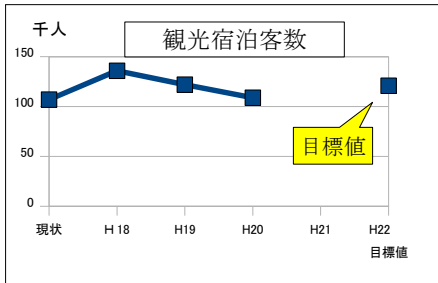
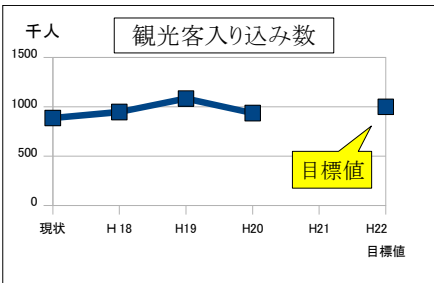
3つの湾とその流域の連携によるグリーン・ツーリズムを推進するとともに、根浜海岸観光施設をリニューアルして、年々増加する体験者に対応できるように受け入れ態勢を整えます。

鉄の歴史館については、展示の更新などを行い、魅力ある施設とするために引き続き取り組みます。また、寅年にちなみ郷土芸能である虎舞を活用するなど、海や四季の味覚まつりとともに「かまいし」のイメージを定着させるような観光を推進します。

他地域との交流としては、民間レベルでの交流を誘発するほか、特に東海市については、物産やスポーツ、虎舞に加えて、産業や文化、教育面での交流を進めます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・観光客入り込み数と比較して、宿泊客数が減少傾向である。今後の施策に期待する。
- ・おもてなしのため、地域住民の観光教育が必要ではないか。
- ・各種イベント開催時は交流人口も増加しているが、その他の時に有効な施策の展開が必要である。



基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：2 にぎわいのあるまちづくり

施策1：⑤魅力あるまちなみの整備

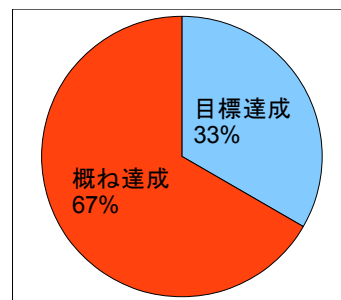
施策評価：概ね達成

○ 施策の進捗状況・課題等

ワークショップや社会実験の成果をもとに、青葉通り緑地や市道3路線、薬師公園の整備を行いました。
 まちなかへの継続居住を進め、にぎわいの創出を図るため、新しい大只越市営住宅の建設に着手しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	33%	(1/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	67%	(2/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/3指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/3指標)

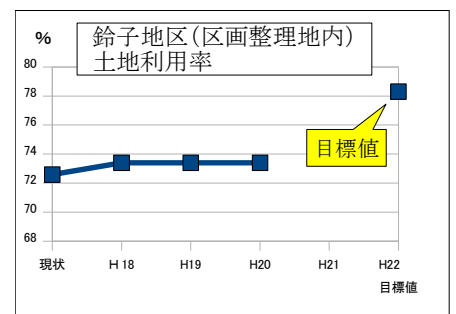
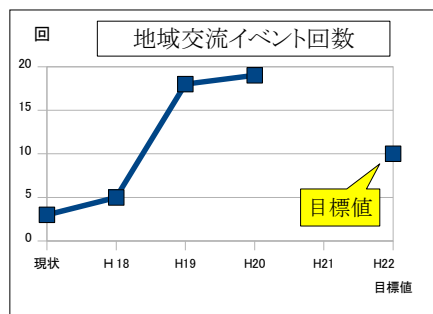
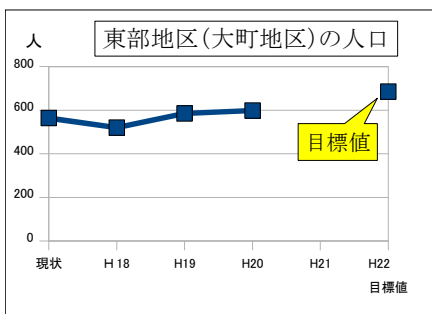


○ 今後の施策の展開

市民や来訪者に快適な空間を提供するため、市民から出された意見や要望を実施設計に反映させて、道路や公園施設等の計画的な整備を進めます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・東部地区の整備の成果が見えてきています。景観のほかに利便性も考慮してほしい。
- ・東部地区の人口だけを増やす指標である。公平性の観点からもその他の地域に対し十分な説明が必要と思う。
- ・まちなみの整備は必要であるが、付加価値を付けなければにぎわいは生まれない。今後の施策に期待する。



基本目標：1 にぎわいと活力ある産業が展開するまち

政策：2 にぎわいのあるまちづくり

施策1：⑥交流基盤の強化

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

東北横断自動車道釜石秋田線は、仙人峠道路の開通により、物流の効率化や交流人口の拡大など、活性化に大きな効果をもたらしましたが、遠野釜石間の整備計画への格上げが課題となっています。

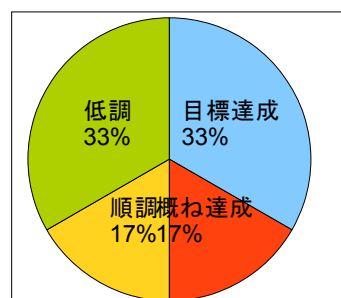
三陸縦貫自動車道は、釜石山田道路の先行整備区間である水海片岸間の工事が平成22年度の供用開始に向けて順調に進められています。また、新町接続計画による用地の調査等も開始されていますが、大船渡釜石間の整備が課題となっています。

三大基盤が完成し、平成20年の釜石港の取扱貨物量は、前年と比較して、10パーセントも増大しました。地元は勿論、県内外の企業から釜石港を利用したいとするニーズが高いため、リサイクルポート形成の一層の促進も睨みながら、釜石港内航フィーダーコンテナ定期航路の開設に向けて、第3セクターを設立し、クレーンやストラドルキャリアなどの港湾荷役機械の整備を行いました。東北地区への自動車産業の新たな展開や、県内陸部に立地している自動車関連企業の増産を視野に入れ、釜石港の取扱台数を増大させるべく、関係企業へのポートセールスを実施しました。また、港湾に対する市民の理解を深めていくため、湾口防波堤の見学会やシンポジウムを開催し、みなとまちづくりに向けて取り組みました。

平成20年11月、地上デジタル放送の釜石テレビ中継局が開通しました。デジタル放送の難視聴対策のため、市内において受信状況の調査を実施しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	33%	(2/6指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	17%	(1/6指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	17%	(1/6指標)
低調に推移(60%未満)	33%	(2/6指標)



○ 今後の施策の展開

東北横断自動車道と三陸縦貫自動車道の全線開通に向けて、関係機関と連携し、道路整備促進大会の開催や要望活動を展開します。

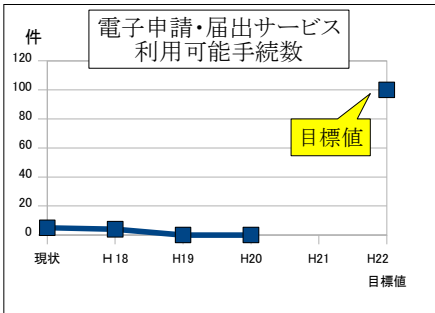
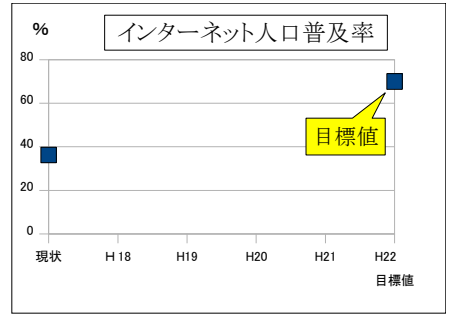
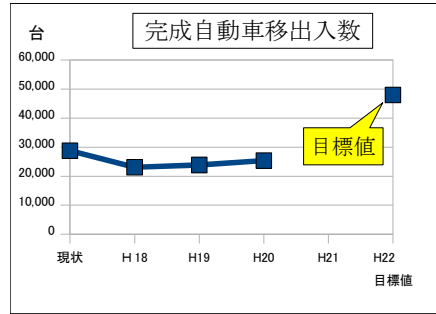
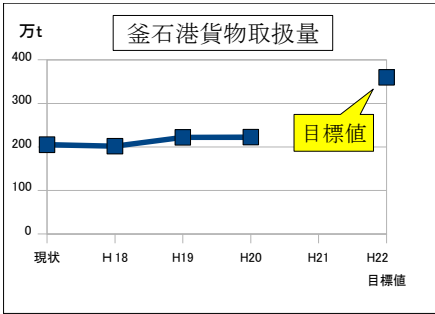
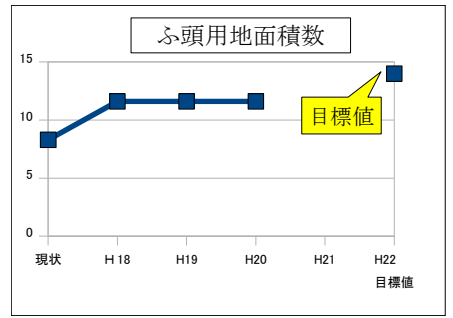
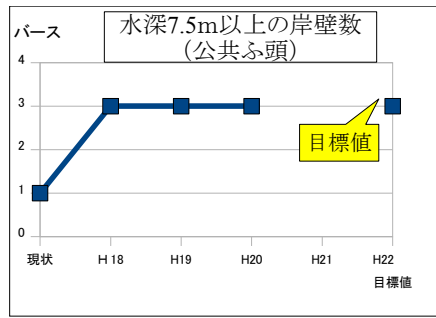
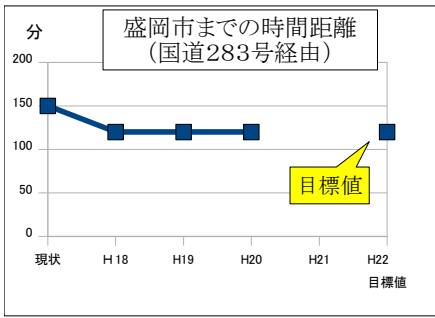
釜石港公共ふ頭の利用拡大による産業振興を目的に、三大基盤を最大限に活用し、完成自動車取扱やコンテナなどの様々な貨物に対応するためにも、更なる釜石港の整備促進に努め、港湾荷役機械の整備、港湾計画の一部変更の早期着工など、港湾機能の向上に努めます。

安全かつ効率的に利用可能な釜石港をPRしながら、荷主企業などへの積極的なポートセールス、湾口防波堤により生み出される静穏水域の有効活用、大型客船の誘致など、港湾及び湾域の利活用促進に努めます。

地上デジタル放送については、受信状況調査の結果に基づき、国や県、放送事業者などと連携し、効率的で効果的な難視聴対策に取り組みます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・三大基盤の完成をどのように活かしていくのか、具体策を示すことが重要である。
- ・グローバル化も視野に入れ、広域振興圏の拠点にふさわしい施策の展開を。
- ・地上デジタル放送への移行に万全を期してほしい。



基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：3 健康で安心して暮らせるまちづくり

施策1：⑦健康づくりの充実

施策評価：順調に推移

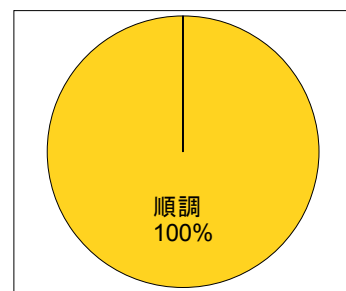
○ 施策の進捗状況・課題等

「健康かまishi21プラン」の中間評価・見直しを行い、早世の減少、健康寿命の延伸に加え、がん検診の受診率向上を目指すことを全体目標としました。また、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るため、新たに市食育推進計画「食育かまishi21プラン」を策定し、未来を担う子どもたちに関わるすべての人たちが協働して、望ましい食習慣を育む基本指針を定めました。

釜石医師会の主催により、医療・介護関係機関・団体及び行政を交えた「釜石・大槌地域在宅」が組織され、在宅医療の推進に向けた医療と介護の連携体制の構築に取り組んでいます。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/2指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/2指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	100%	(2/2指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/2指標)



○ 今後の施策の展開

生活習慣病について適切な情報提供をするとともに、地域の住民が主体となった健康づくり活動を地区生活応援センターと連携して推進します。

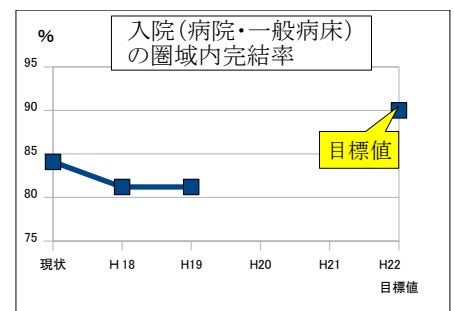
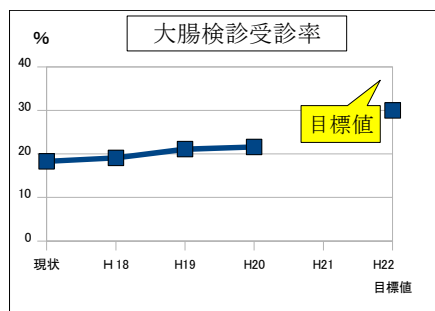
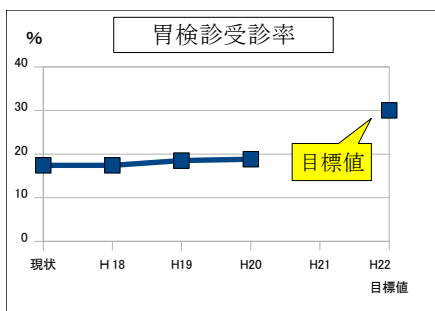
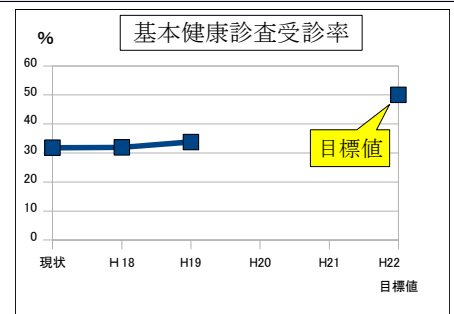
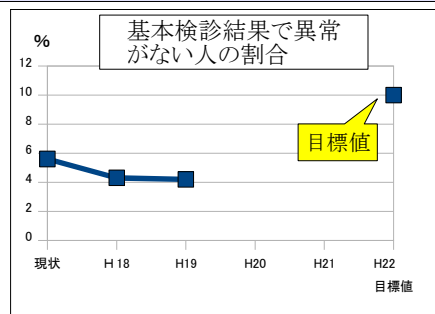
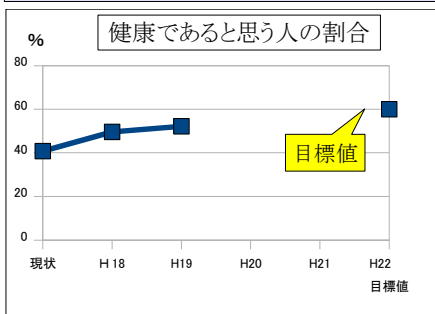
疾病の早期発見につながる各種検診の受診率向上に努めます。

食育を推進するため、関係機関との連絡調整を強化する体制づくりに取り組みます。

限られた医療資源の中で、必要な地域医療を確保するため、地域医療に関する情報提供にさらに努め、住民全体で地域医療を支え合う仕組みづくりに取り組みます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・検診も重要だが、予防のための健康づくりについて考えるべき。
- ・県立釜石病院の医師不足の解消は市民みんなでも応援する体制づくりを。
- ・住みやすいまちの条件のひとつである小児科・産婦人科の整備への支援を。



基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：3 健康で安心して暮らせるまちづくり

施策1：⑧福祉サービスの充実

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

生活応援センターを平田地区に設置し、地域・家庭等の状況に応じた相談が充実するなど、地域での福祉サービスや支援体制の基盤を整えました。

地域福祉を推進する中心的役割を担う社会福祉協議会を支援し、民生児童委員協議会が行う研修等の活動を行う経費に対し助成し、民生・児童委員の活動を支援しました。

ソーシャルワーク現場実習生の受入れを行い、福祉を担う人材の育成に努めました。

地域子育て支援センター(大町)の開所により、地域全体で子育て家庭に対する育児支援を推進するための基盤形成が図られました。安心安全な保育環境を整えるため、老朽化した保育施設の改築整備に対し支援を行いました。待機児童数は減少傾向が見られるものの、完全なゼロではなく、第1希望の保育所への入所が叶えられていない場合もあります。

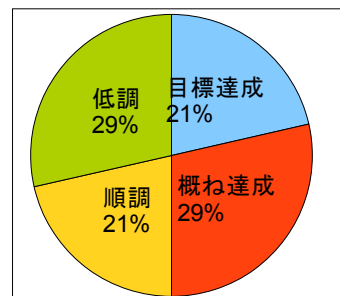
小規模多機能型居宅介護等地域密着型施設の建設業者を選定しました。高齢者が集う場所の提供として、高齢者サロン事業を立ち上げ各応援センターと連携し事業を展開しました。「認知症高齢者をかかえる家族の会設立事業」を立ち上げ、介護研修等や「閉じこもり等予防事業」、「地域住民グループ支援事業」等を実施し、介護予防高齢者施策を推進しました。

社会資源を十分に活用して個別の困難事例に対応するため、行政機関、教育機関、障がい福祉サービス事業所、障がい者の親の会等の連携組織である釜石大槌地域障がい者自立支援協議会に部会を設け、機能強化を図りました。また、障がい特性を理解するための学習会を開催し、地域住民の理解促進に努めました。また、釜石大槌圏域の障がい者福祉関係職員の人材育成に努め、質の高い障がい者支援が常に提供されるよう努めました。

企業からの受注業務が激減している障がい福祉サービス事業所に、新たな企業の紹介を行いました。一般企業への障がい者の就労については厳しい状況にあります。また、通所系の障がい福祉サービス事業所については利用定員の制限があり、通所できない障がい者がいます。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	21%	(3/14指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	29%	(4/14指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	21%	(3/14指標)
低調に推移(60%未満)	29%	(4/14指標)



○ 今後の施策の展開

県立大学との共同研究を行い、地域の健康・安心づくりの進め方についての評価を行います。

災害時の避難支援等、地域の支え合いが推進される施策を展開します。

社会福祉協議会及び民生・児童委員と連携し、地域福祉計画の策定過程を通じ、地域が主体となった地域づくりを進めます。

保護者の子育て支援と就労の両立を支援するため病後児保育事業の21年度中の開始に向けて取り組みます。老朽化した保育施設の改築整備に対し支援を行います。

待機児童解消に向け、事業所内保育所による一般児童の受入れ促進、職員利用との保育料差額補助を実施します。・大町子育て支援センターへゆいっこサポートセンター事務局を設置し、子育てボランティアの利用促進に取り組みます。子育て世代の経済的負担軽減のため、同時入所の場合の第2子以降の保育料無料措置を実施します。障がいなど特別な配慮や支援が必要な児童に対する、支援充実への取り組みをします。

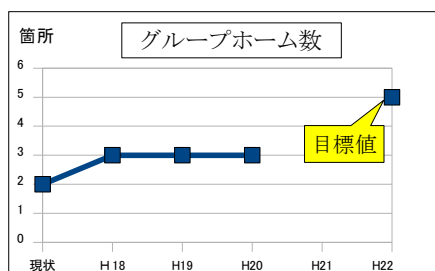
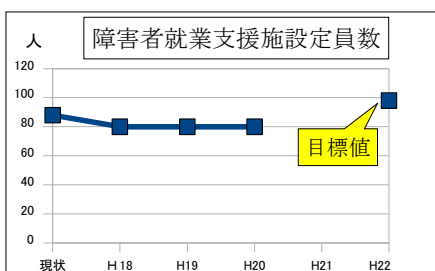
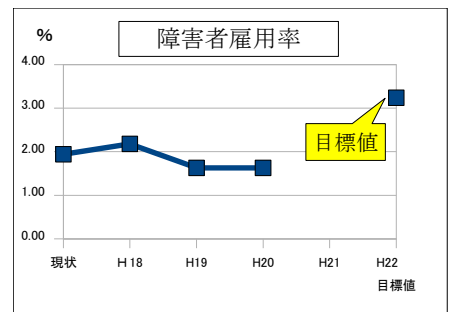
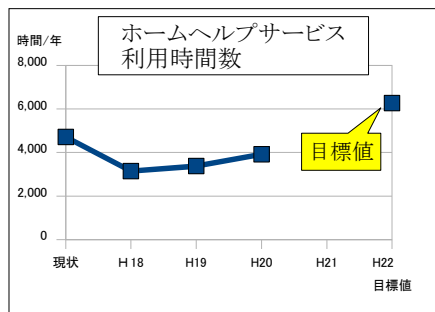
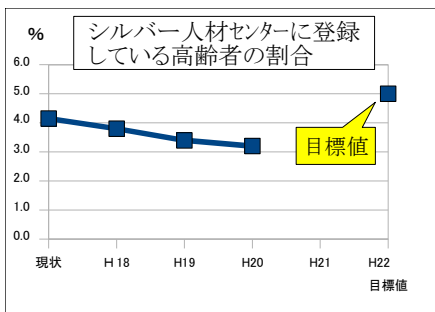
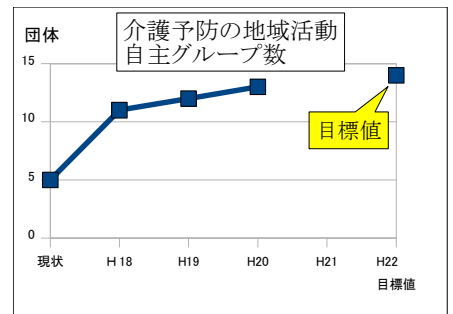
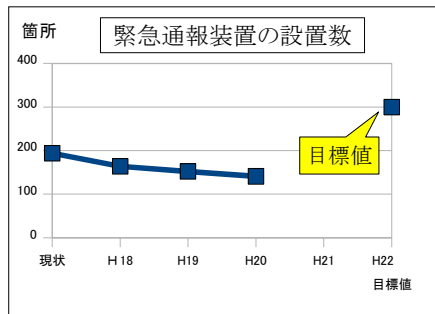
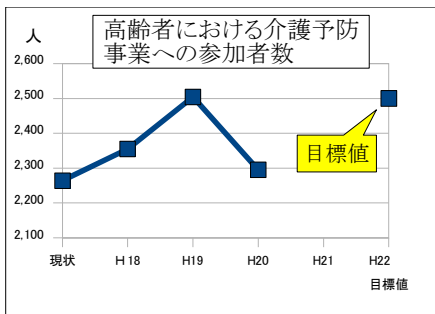
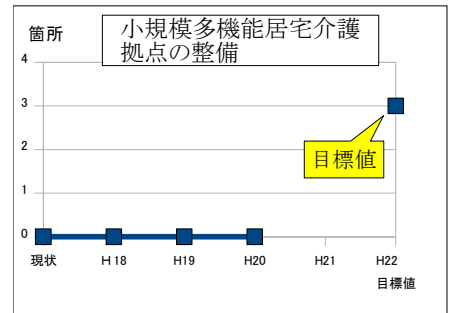
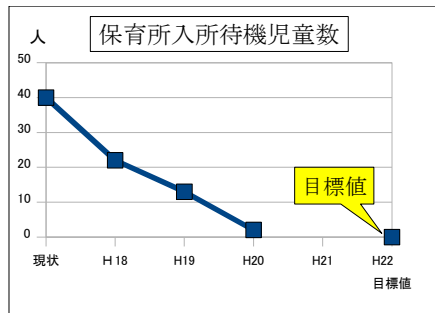
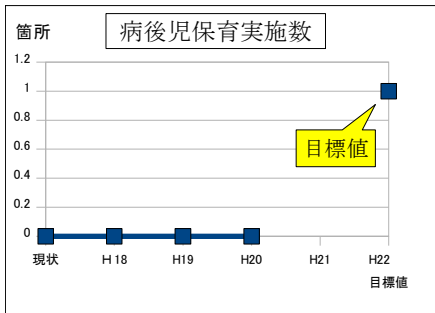
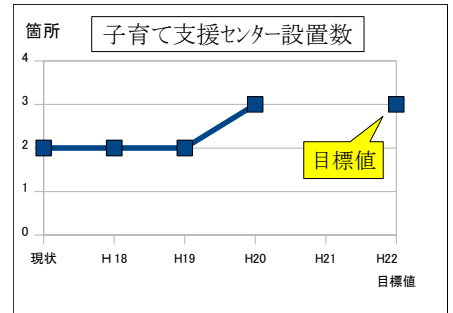
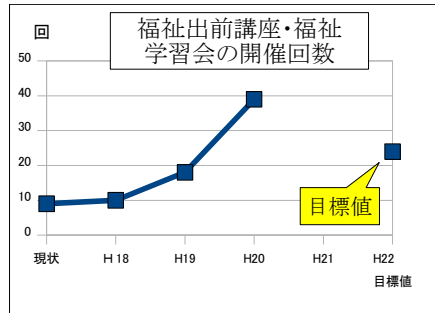
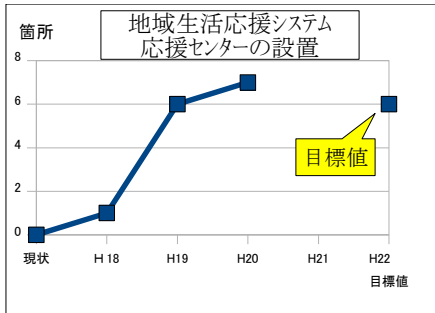
小規模多機能型居宅介護拠点等地域密着型施設がH21～H23年度にかけて建設されます。また、シルバー人材センターで新規事業を展開し、高齢者の雇用機会の創出を図ります。

介護予防等高齢者に対する事業として、「認知症高齢者をかかえる家族会」の立ち上げや、「高齢者携帯電話活用日常生活支援事業」等を展開します。

広報や新聞の活用、民生・児童委員協議会との積極的な関わり、一般企業への訪問、障がい者の社会参加促進等を進め、住民への障がい特性及び障がい者理解の浸透を図ります。
 障がい者自立支援協議会を活性化するために県事業を導入し、研修や他圏域の自立支援協議会との交流を実施し、障がい者福祉関係者の資質向上を図ります。
 市が直接行っている業務、あるいは市が業者に委託している業務を、障がい福祉サービス事業所が行えるよう支援します。また、釜石市福祉作業所の改築を支援し、一般企業で働くことが困難な障がい者の就労につなげる取り組みをします。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・施策の内容を市民にわかりやすく公開し、少しでも不安の解消を図るべき。
- ・老人介護施設の待機者解消に努めてほしい。
- ・釜石の福祉サービスのレベルについて、他市との比較をして公表してはどうか。



基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：3 健康で安心して暮らせるまちづくり

施策1：⑨生活の安全確保

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

防災教育支援事業に取り組み学校現場における教育プログラムの開発を行ったほか、地域の安全安心促進基本計画策定事業として鶴住居地区の津波ハザードマップを作成し、防災意識の高揚を図りました。地域防災力を担う消防団員確保のための環境整備に取り組みました。

救急救命士の高度な応急処置による傷病者の救命対策に取り組みました。

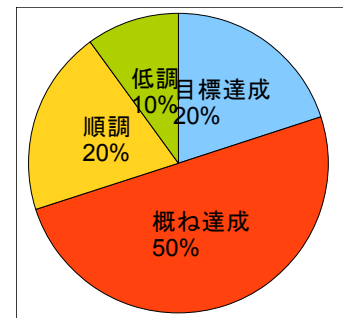
土石流危険渓流及び急傾斜地崩壊危険箇所の整備については、国・県に対し強く要望活動を実施していますが、厳しい財政事情から整備が進んでいません。

住民の生命と財産を守るべく、土砂災害パトロールや土砂災害防止法による危険区域指定に係る住民説明会を実施しています。

高齢運転手の増加などにより、高齢者が関係する事故が増加傾向にあります。また、悪質商法によるトラブルや振り込め詐欺、多重債務問題が多発する傾向にあることから、市民が自立した消費者として行動できるよう意識の向上を図る必要があります。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	20%	(2/10指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	50%	(5/10指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	20%	(2/10指標)
低調に推移(60%未満)	10%	(1/10指標)



○ 今後の施策の展開

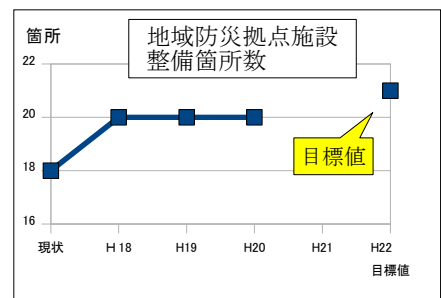
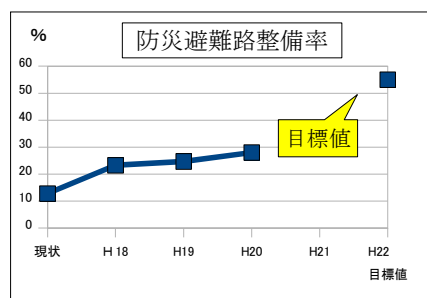
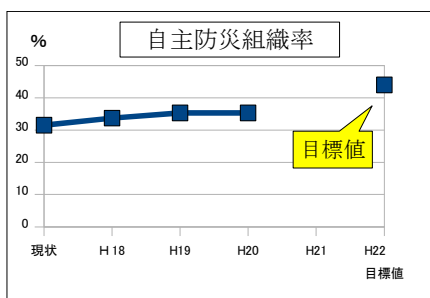
今後30年以内に高い確率で発生すると想定されている宮城県沖地震に対応するため、引き続き自主防災組織の結成と自主防災組織の活動を図っていきます。

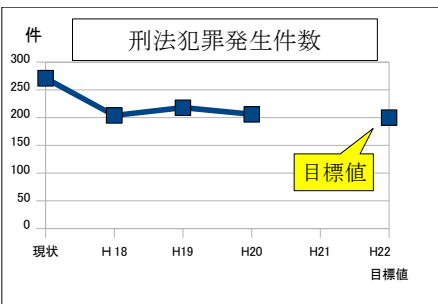
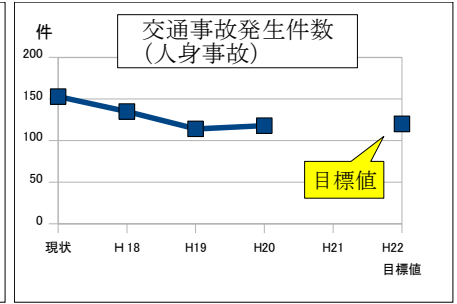
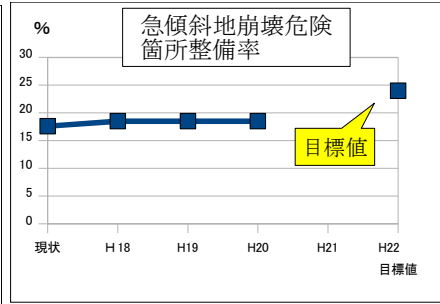
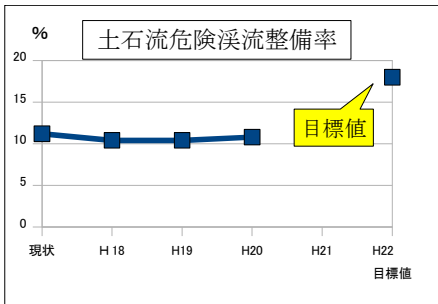
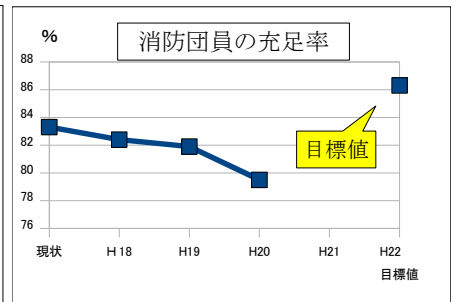
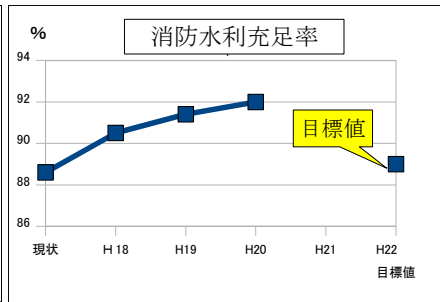
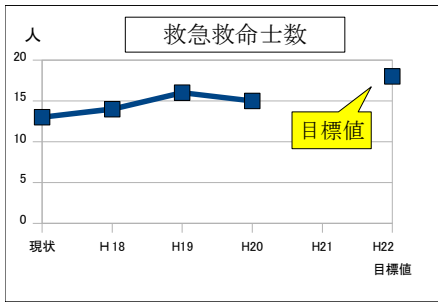
地域医療の充実・高度化が求められる中、増加する救急需要に円滑に対応し、住民の生命の安全を確保できる救急体制の更なる充実強化を図ります。

関係機関と協力し、交通安全の季節運動等の活動を展開します。また、悪質商法によるトラブルや振り込め詐欺、多重債務問題については、消費生活相談体制の充実に取り組みます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・防災の意識は住民にも広がってきている、今後とも継続した取り組みが必要。
- ・消防団員確保のため、環境整備などの取り組みを強化してほしい。
- ・地域ごとに地震、津波、土砂災害時の避難場所とルートを確認に理解させる必要がある。





基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：4 快適な環境のまちづくり

施策1：⑩自然環境の保全

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

和山湿原自然環境保全地域を適正に保全するため、自然保護指導員を委嘱設置し、湿原の監視のほか、訪問者への指導に努めました。

市主催の野鳥観察会、星空観察会、ホタル観察会のほか、関係機関・団体との共催による水生生物調査、稚魚の放流会などの自然とふれあう機会を通じて、自然環境保全並びに自然の公益的機能の重要性への意識の醸成に努めました。

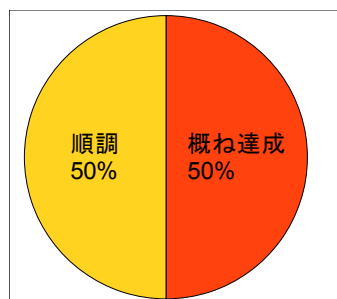
関係機関・団体等との情報の共有化を図るとともに、不法投棄合同パトロールを実施し、不法投棄防止啓発と自然環境の保全に努めました。

公共用水域の水環境を保全するため、工場排水の水質検査を行うほか、関係機関と各河川ごとの流域環境保全の会と連携し、河川のクリーンアップを実施しました。

和山湿原の案内板や遊歩道等の更新整備、投棄物の処理及び回収体制の確立が課題となっています。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/2指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	50%	(1/2指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	50%	(1/2指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/2指標)



○今後の施策の展開

和山湿原の立看板、木製遊歩道の施設が老朽化により、当該施設の役割を果たしていない状況であるため、引き続き、更新整備を県に上申し、早期実現に努めます。

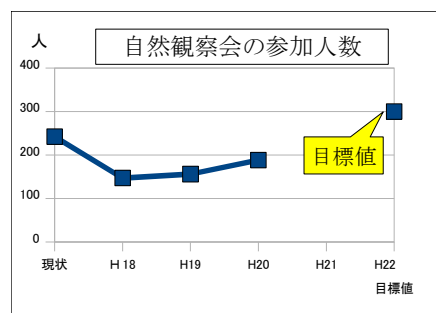
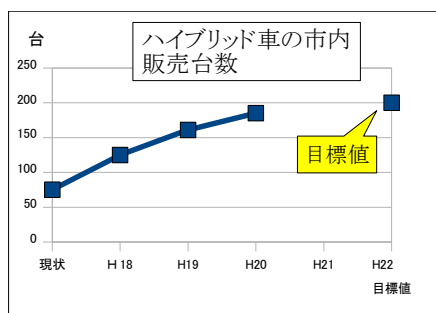
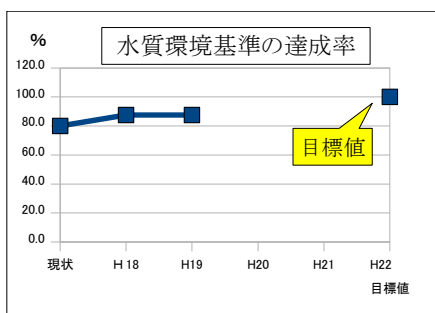
当市の優れた自然環境をより多くの市民に親しんでいただくため、参加体験型イベント、PR手法等を検討し、自然とのふれあいを促進します。

関係機関・団体との合同パトロールのほか、当課職員主体のパトロールの強化に努めます。

工場排水の監視を継続しながら、関係機関・団体と協働して河川等の環境保全に努めます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・不法投棄のパトロールや工場廃水の監視を引き続き行ってほしい。
- ・太陽光発電の普及についても推進する必要がある。
- ・児童・生徒に自然の大切さを教えるのもひとつの方法と思う。



基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：4 快適な環境のまちづくり

施策1：⑪生活環境の充実

施策評価：概ね達成

○ 施策の進捗状況・課題等

耐震診断事業、耐震補強工事助成事業及びバリアフリー化等改修助成事業を継続して行い、安全で良好な住環境の整備が図られました。

20年度末時点での水道普及率が94.5%であるが、今後は更に給水区域の拡張を検討し未普及地域の解消を図り普及率の向上に努めます。

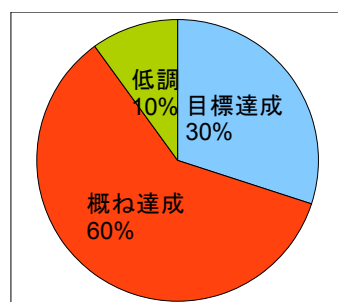
公共下水道普及率は20年度末時点で55.9%であり、未普及地域には、引き続き管きよの整備を進めます。また老朽化した施設を計画的に更新し、円滑な下水処理を行います。

家庭系ごみの減量対策として、平成21年度からの指定ごみ袋導入を決定し、市内100箇所以上で「ごみ座談会」を開催し、制度の周知を図りました。また、生ごみ削減のための生ごみ処理機の購入費補助やごみ収集効率の向上のためのごみ箱集約化補助事業を創設して、市民と協働したごみ減量に取り組みました。事業系ごみの適正処理については、各事業所を訪問して指導を行った他、事業系廃棄物処理手数料の改訂を行いました。

循環型社会に対応した安定的なごみ処理のため、広域ごみ処理施設の建設に着工しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	30%	(3/10指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	60%	(6/10指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/10指標)
低調に推移(60%未満)	10%	(1/10指標)



○今後の施策の展開

耐震診断事業は対象戸数が多いことから、実施戸数を着実に積上げていくため、制度の一層の浸透と充実を図ります。計画的に住宅の建替や改善を推進し良好な居住環境を創出します。

安全でおいしい水の安定供給に不安を抱えている箱崎・箱白・仮宿の各地区について、平成20・21年度の2ヵ年で施設整備事業に着手し、21年度内の供用開始に向けて整備を行っています。

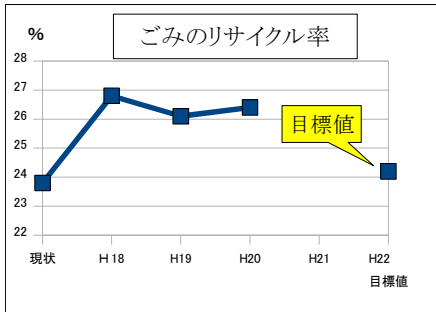
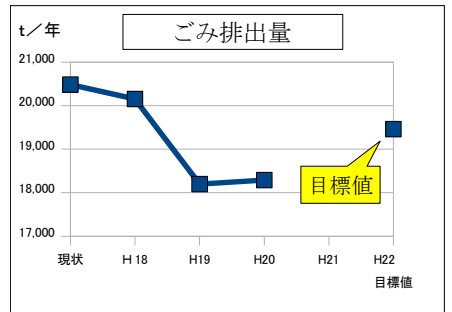
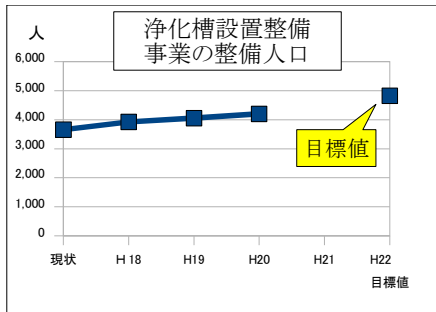
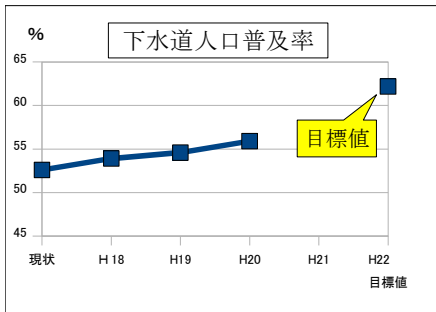
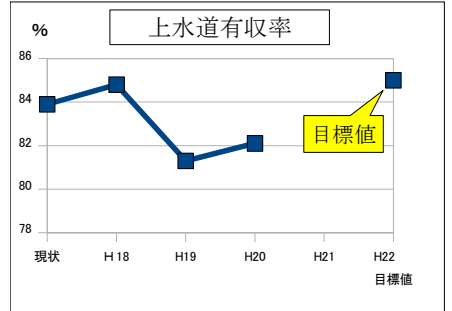
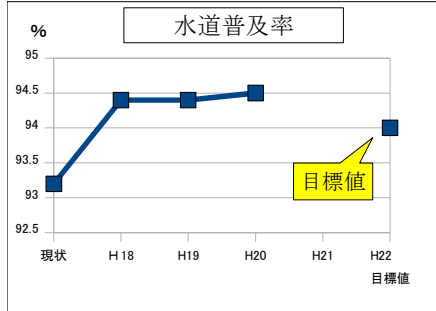
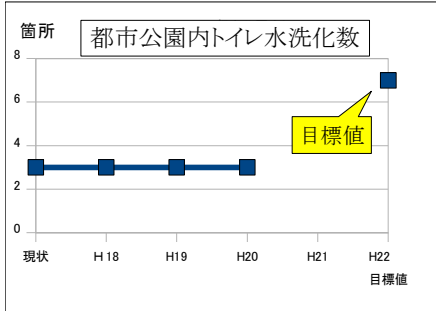
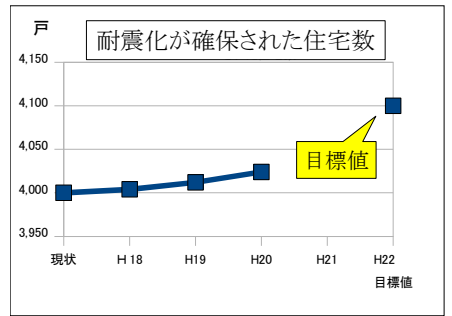
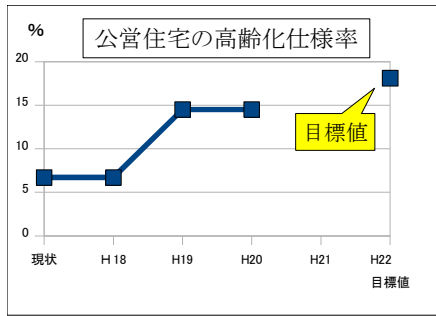
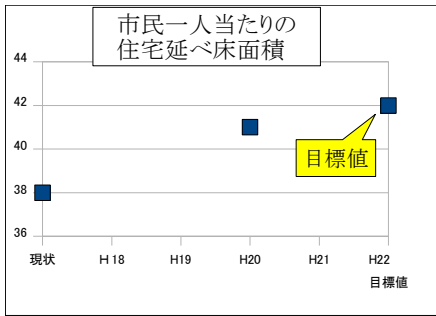
下水道については、基本計画策定業務や施設の耐震化調査を実施し、効率的な計画策定に努めます。

平成23年度の岩手沿岸南部クリーンセンター稼働に向けて、3市2町が共通した資源分別区分として掲げている、ペットボトルや白色トレイの分別収集に取り組みます。また、同センターの稼働後は不要となる現在の清掃工場について、解体を含めた跡地利用の方針を検討します。

公衆衛生組合連合会やごみ減量推進員の協力を得て、クリーンアップ活動や不法投棄防止活動などを行い、地域の公衆衛生の向上を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・耐震診断や耐震補強工事をさらに促進する必要がある。
- ・ゴミの減量に併せて、再利用についてのキャンペーンも必要では。
- ・ゴミの減量については、今後とも官民一体となった取り組みを期待する。



基本目標：2 すべての人に優しい快適なまち

政策：4 快適な環境のまちづくり

施策1：⑫交通ネットワークの整備

施策評価：概ね達成

○ 施策の進捗状況・課題等

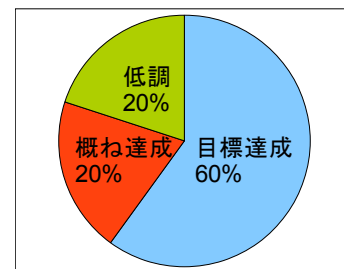
限られた予算の中で、適切かつ計画的な改良整備に努め、住環境の向上と道路の快適性を高めています。児童・生徒の通学や高齢者や障がい者に配慮した道路整備に努めています。

災害時における道路の寸断を避けるため、道路、橋梁等についての延命化に努めています。

公共交通機関は、通学・通院等、市民の日常生活の足として重要であり、また、安心して生活できるまちとしても必要不可欠な社会基盤ですが、全ての要求を満足させる理想的な公共交通の確保は財政上厳しい状況であることから、必要最低限を見極めながら、少子高齢化等に対応した公共交通を維持・確保できるかが課題となっています。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	60%	(3/5指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	20%	(1/5指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/5指標)
低調に推移(60%未満)	20%	(1/5指標)



○ 今後の施策の展開

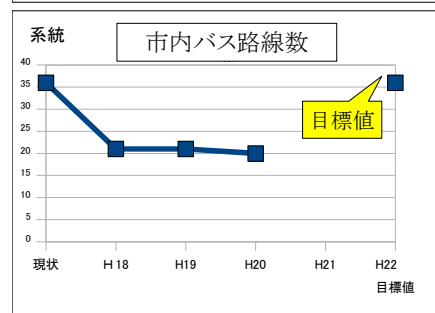
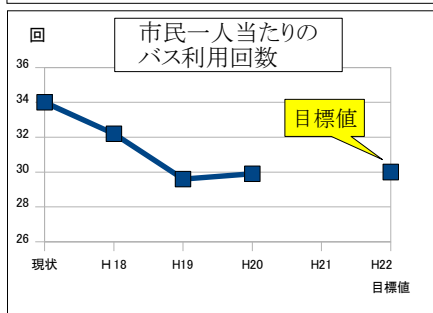
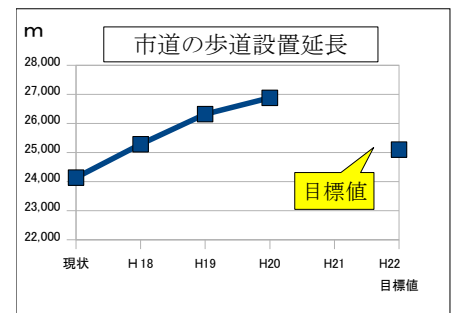
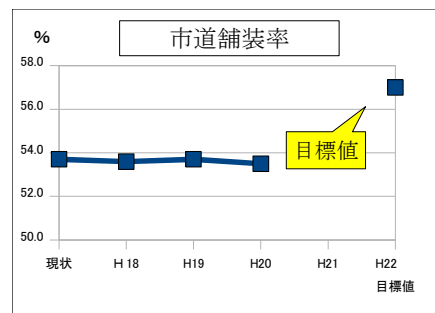
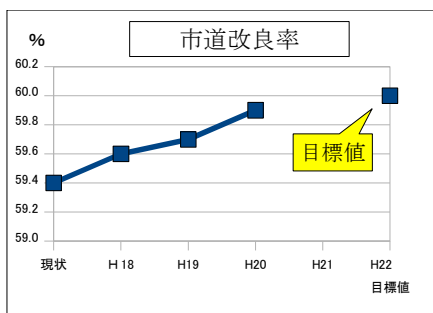
市の財政状況が厳しくなる中で、交付金などの財源確保に努めます。

仙人峠道路の整備効果を市内に波及させるため、交通環境の変化に対応できるよう、関係機関と連携し、効果的な市道整備を進めます。

市民、公共交通事業者及び行政がそれぞれの責務を認識し、三者がそれぞれの立場で役割を担うことにより、公共交通の維持、確保を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・高齢化が進むと今まで以上に公共交通機関の確保が重要になる。
- ・道路の改良整備については、優先順序を厳選して取り組むこと。
- ・交通環境の整備は生活環境の充実にもつながる。継続した取り組みをしてほしい。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：5 学び育てるまちづくり

施策1：⑬学校教育の充実

施策評価：目標値達成

○ 施策の進捗状況・課題等

学校施設・設備は、老朽化しているものが多いため、各施設等を日常的に点検し、緊急度や優先度を判断しながら修繕・交換等を行っています。大規模な改修が必要なものについては、計画的に対応します。また、耐震性の不足している校舎や屋内運動場は25棟(13校・園)あり、1校の第2次耐震診断を実施しましたが、今後第2次診断を実施すべき施設は14棟(9校・園)あり、その結果に基づき耐震補強等の速やかな対策が必要です。

幼児教育については、市立幼稚園での預かり保育の実施、特別に支援が必要な幼児に対する補助員の配置など保護者のニーズに対応し、概ね順調に取り組まれました。私立幼稚園については、教材教具等の整備補助や保護者の経済的負担の軽減措置を講じ、就園の促進を図りました。

心豊かでたくましく生きる力を育てる教育の推進については、体験活動の充実、防犯・防災へ取り組み、いじめ・大きな問題行動の発生がなかったことなど成果を上げた反面、学力の向上に課題が見られました。また、不登校の児童生徒が前年度より増加しました。

小学校給食については、衛生管理基準・食中毒防止マニュアル等に基づき衛生管理の徹底に努めました。中学校給食については、食に関する指導等により健康に関する意識啓発が図られ、市販弁当の減少をみました。しかし、ランチサービスの利用率は家庭弁当との選択制ということもあり、前年を下回る結果となりました。

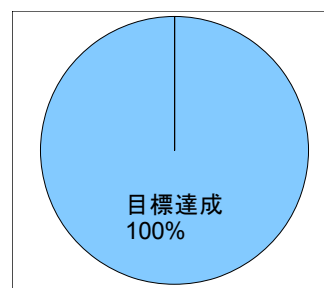
創造性を育てる教育の推進については、総合的な学習の時間を中心として、児童生徒が自らの発想や考えを生かす学習が行なわれました。また、地域素材を学習に積極的に取り入れることで児童生徒の興味関心を高めながら学習に取り組むことができました。

国際理解教育、キャリア教育の推進、中学校のコンピュータ更新のめどが立ったことなど今日的な教育課題への対応が図られました。また、全学校で「まなびフェスト」の作成が行なわれ、保護者と目標を共有した学校経営によって、開かれた学校づくりが推進されました。

学校統合については、釜石市立小・中学校統合実施基本計画後期計画に基づき順調に実施しており、平成22年4月1日に白浜小学校が鶴住居小学校へ、尾崎小学校が平田小学校へそれぞれ統合することが決定しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	100%	(3/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/3指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/3指標)



○今後の施策の展開

耐震性の不足が考えられる校舎等について、第2次診断を実施し、耐震補強の必要な施設を明らかにするとともに、順次耐震補強工事を実施していきます。

平成21年4月から新たに「幼児教育推進室」を設け、乳幼児期の保育、教育を就学前教育として一元的にとらえ、就学前教育の充実を検討します。

児童生徒の学力の状況を分析し、指導方法の工夫改善に生かすため、授業力を向上させる取り組みを継続します。あわせて、指導主事による学校訪問により、授業改善について教職員と協議しながら、学習指導の充実につとめます。

生徒指導については、指導主事を中核とし、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、適応指導相談員等の連携を図り、学校としての組織的な対応、教員の指導力の向上、小中学校間の連携、適応指導教室との連携など不登校対策に重点的に取り組みます。

給食の安全安心の確保に努めるとともに、適切な食習慣の形成について、「釜石市食育基本計画」等を基に、小中学校の「食」に関する指導を実施し、意識の向上及び中学校ランチサービスの利用促進を図ります。

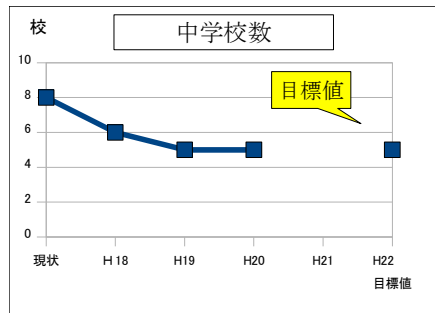
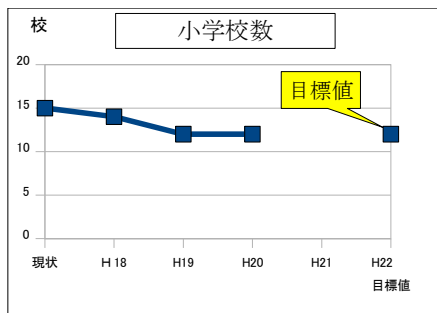
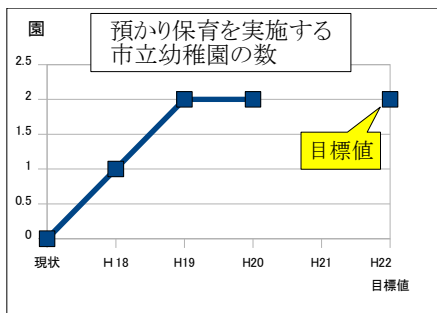
郷土に対する愛着や誇りを醸成するため、地域の人材、文化、自然を生かした体験学習に今後も積極的に取り組みます。

小学校及び教員用コンピュータの配備を進めます。また、国際理解、英語指導の充実を図るとともに、平成21年度事業としてかまいしコミュニティースクール推進事業の実施、学校と保護者との教育目標の共有など、地域に開かれた学校づくりを進めます。

橋野小学校及び栗林小学校の統合については、地域住民・PTA関係者と今後の進め方等について協議を進めます。また、学校統合による通学対策として、新たなスクールバスを購入するなど統合に向けた諸準備を円滑に進めます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・学習しやすい環境のために、老朽化対策、耐震対策は必要であり、また災害時の避難場所となるため、早期整備を。
- ・多岐にわたる教育施策において、教育現場での実態を公表する施策がほしい。
- ・中学校のランチサービスには課題が多いように思う。各家庭から意見を聞きながらの取り組みに期待する。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：5 学び育てるまちづくり

施策1：⑭社会教育の充実

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

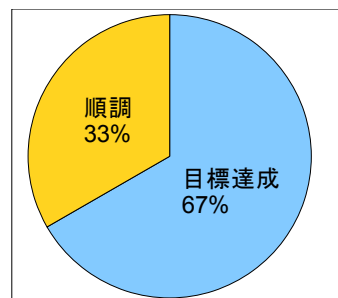
生涯学習推進体制の充実については、生涯学習推進計画に基づき、まちづくり出前講座による講師の派遣や生涯学習情報の提供・相談体制の充実、地区公民館の充実、市民団体との協働など、概ね順調に取り組むことができました。公民館主催講座の件数・参加者数も大幅に増えており、地域における学習機会の提供も推進されています。また、環境、男女共同参画社会、子育て支援、国際交流などの現代的な課題に対応した学習機会を提供に努めました。生涯学習推進本部及び同連絡調整会議の運営方法や生涯学習推進協議会(仮称)の設置については、今後の課題となっています。

社会教育活動の充実については、生涯学習推進計画に基づき、生涯のそれぞれの時期に対応した学習機会を提供しました。また、教育振興運動の推進のほか、学校支援地域本部事業を実施するなど、子供・親・学校・地域・行政の連携による地域教育課題の解決に取り組みました。さらに、岩手大学及び立正大学と連携して高度な学習機会を創出しており、主要な指標の目標を達成し、順調に成果が見られました。

市立図書館においては、資料収集方針に沿って着実に蔵書資料の充実が図られているとともに、情報システムの活用より利便性が向上しています。また、小学校への団体貸出数の増加、ブックスタート事業の継続、学校図書館ボランティアの育成など「釜石市子ども読書活動推進計画」の推進により、読書に親しむ環境整備の取り組みを展開しています。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	67%	(2/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	33%	(1/3指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/3指標)



○ 今後の施策の展開

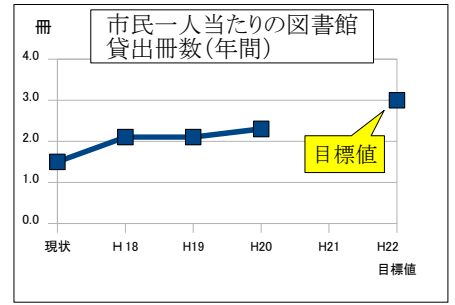
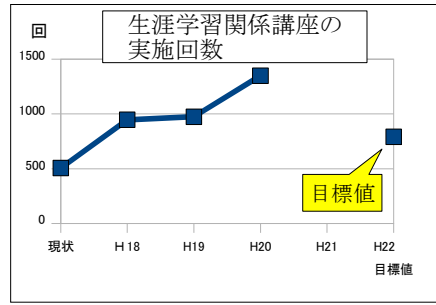
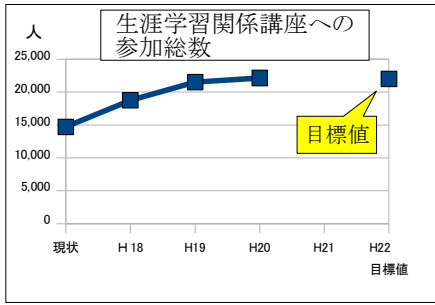
生涯学習推進のため、家庭教育、青少年、成人、高齢者と、生涯のそれぞれの時期に対応した学習機会の提供に努めるとともに、環境、男女共同参画社会、子育て支援など現代的な課題に対応した学習機会提供の充実を努めながら、庁内の関係課と連携し多彩な学習活動や社会参加活動の促進に努めます。なお、生涯学習推進本部の運営や生涯学習推進本部(仮称)の設置については、見直す方向で検討します。

また、生涯を通じて学習や健康づくり、生きがい、楽しみを見出したいという市民の生涯学習ニーズに応え、一人一人がそれぞれの個性を生かし、生涯を通じて学びながら共に歩むことのできる生涯学習社会の構築が求められており、高度な学習機会の創出、大学・研究機関との連携による生涯学習の推進によって、市民が主体的に参画するまちづくりを進めます。

蔵書の質的な充実を進めるとともに、未整理の蔵書の登録作業を随時進めます。また、図書館情報システムの一層の活用と浸透を図り、利便性の向上、利用者数・利用率の向上を図ります。各種事業は適切な取捨選択を行い、図書館奉仕の充実に努めます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・いくつになっても学ぶということは喜びにつながる。生活の質を高められるよう一層の充実を期待する。
- ・図書館は各種企画を実施しており、一定の成果が見られると思う。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：5 学び育てるまちづくり

施策1：⑮芸術・文化の振興

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

開館30周年を迎えた市民文化会館は、市民手づくりの「市民劇場」、「かまいしの第九演奏会」及びその他のコンサート等の自主文化事業の入場者数が目標値を超え、内容についても好評が得られるなど概ね順調に取り組むことができました。また、館内を全面禁煙として利用環境の改善を図っています。

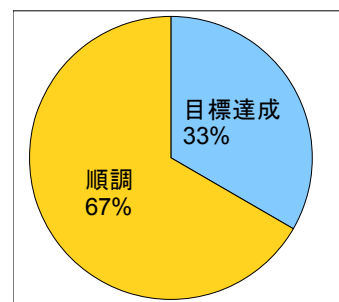
市民文化会館の自主文化事業のほか、市民芸術文化祭、岩手芸術祭巡回美術展、岩手県青少年劇場、いわて童謡唱歌釜石のつどいなどを開催し、市民の芸術に親しむ心を育み、活動意欲を高めるとともに鑑賞機会の充実に努めました。

郷土芸能祭や鉄づくり体験、埋蔵文化財保存事業などを通じて郷土理解を深め、郷土への愛着と誇りの醸成に努めました。また、国史跡橋野高炉跡の適切な保存管理とより効果的な活用を検討していくため、平成20年8月に保存管理計画を策定しました。

郷土資料館においては、新収蔵資料展や囲炉裏端で昔話を聞く会などの企画展を開催し、展示の充実が図られました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	33%	(1/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	67%	(2/3指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/3指標)



○ 今後の施策の展開

自主文化事業を通じて、芸術・文化の体験・鑑賞機会の充実に努めるとともに、円滑な貸館業務に努めます。また、市民が安全かつ快適に会館を利用できるよう施設の整備に努めます。

心豊かでうるおいとゆとりのある暮らしを目指し、市民の芸術・文化活動の振興を図るとともに、鑑賞機会の充実に努めます。

国史跡橋野高炉跡の適切な保存管理と、より効果的な活用を検討していくため、史跡周辺の調査を実施するとともに、近代製鉄発祥の地・釜石を世界に発信していくため、現在進められている「九州・山口の近代化産業遺産群」のユネスコ世界遺産登録の構成要素に組み込んでいただく取り組みを進めます。

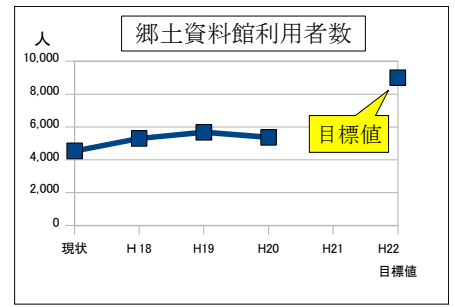
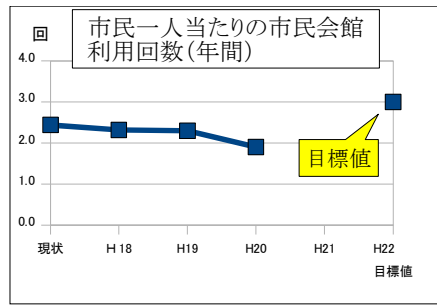
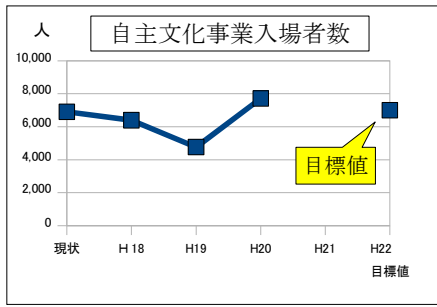
釜石鉾山から寄託された資料の公開に向け、展示資料の整理を行うとともに、鉄づくり体験の機会を通じて、世代間を受け継がれてきた当市の「ものづくり精神」を未来を担う子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成に努めます。

埋蔵文化財の調査・保護、郷土芸能の継承を進めるとともに、市内各所の文化財を活用し、郷土の歴史についての理解を促すとともに、文化財愛護思想の高揚を図ります。また、茶道や華道などの伝統文化を体験・修得できる「伝統文化こども教室」の開催を支援し、子どもたちの豊かな人間性の育成を図ります。

郷土資料館においては、所蔵資料の整理に努め、展示の工夫改善を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- 釜石の芸術・文化・歴史は語りつくせない、井上ひさし氏が言ってるほど豊富な財産だと思う。継続した取り組みが必要。
- 郷土芸能や芸術、文化の展示等が充実しても、広く市民に浸透していないように見受けられる。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：5 学び育てるまちづくり

施策1：⑩生涯スポーツの振興

施策評価：低調に推移

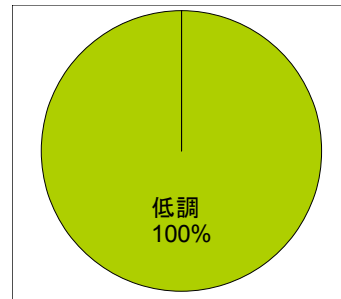
○ 施策の進捗状況・課題等

生涯スポーツの振興については、総合型地域スポーツクラブや関係機関への情報提供などの支援を行いました。スポーツの普及については、体育指導委員等の連携・協力を得て推進しました。市内の全小・中学校の学校体育施設の開放については、活発に利用されています。

競技スポーツの振興については、体育協会やスポーツ関係団体との意見交換を行いながら指導者育成のための講習会、研修会を開催しました。また、スポーツタウン構想の推進を図りながら、平成28年に開催される岩手国体における競技種目の誘致に向けた取り組みを進め、第1次選定において、成年ラグビーの競技会場地として選定されました。また、「ラグビィックドリーム2008」の開催やラグビー出前講座の開催など釜石シーウェイブスの支援に取り組みました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/3指標)
低調に推移(60%未満)	100%	(3/3指標)



○今後の施策の展開

弓道場など各スポーツ施設とも老朽化が著しく、計画的な改修の検討を進めます。陸上競技場については、大会開催に支障がないよう整備を行います。

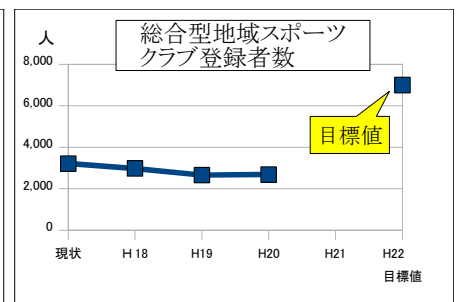
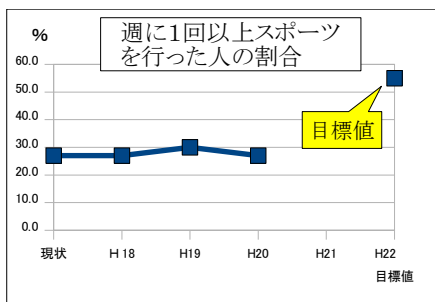
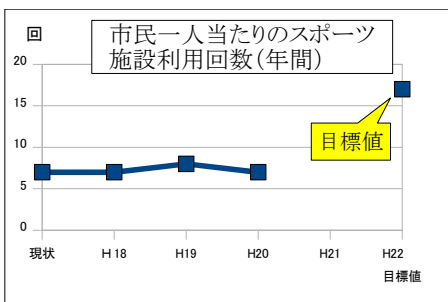
より多くの市民が気軽にスポーツに楽しめるように各種大会や講演会の開催など実践機会の充実を進めるとともに、各地区の生活応援センターと連携し、高齢者の健康増進に向けたスポーツ教室の開催やセンター活動の支援に取り組みます。

競技スポーツについては、スポーツリーダーの育成など競技力の向上を図るための取り組みを検討します。

トップリーグ入りを目指す釜石シーウェイブスの活動を支援します。また、ラグビーの盛んな町の実現のため、イベント等の開催を通してラグビー競技の普及や機運の醸成に取り組みます。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・スポーツの振興は、まさしく豊かな人を育むことであり、継続した取り組みを望む。
- ・健康増進に向けた支援をすることが大切。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：6 参画する心を育むまちづくり

施策1：⑰住民参加の地域づくり

施策評価：順調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

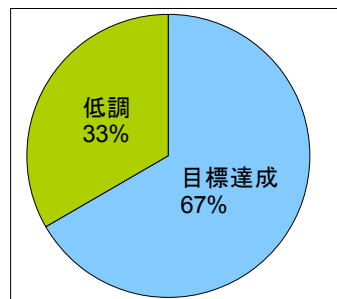
市民の皆さんと市長が膝を交えて自由に話し合う「市民と話す日」、市政の重要課題について意見をいただく「市政懇談会」を実施しました。

地域住民の声を市の政策決定・実行に反映させるための取り組みを進め、市民の皆さんの協力のもと、市内各地区生活応援センターごとに「地域会議」が設立されました。

市政の情報を提供する広報紙については、東京大学社会科学研究所が実施した釜石希望学調査に携わった教授らの投稿記事を掲載したほか、シーウェイブスコーナーを設けるなど、市政への関心を高め、親しみをもってもらう広報紙づくりに取り組みました。ホームページについては、全面的なリニューアルを行い、必要な情報への容易なアクセス、また、担当課が更新作業を情報をよりタイムリーに提供できる環境を整備しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	67%	(2/3指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/3指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/3指標)
低調に推移(60%未満)	33%	(1/3指標)



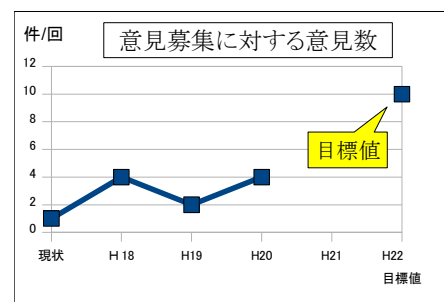
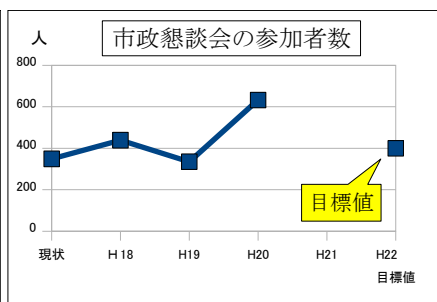
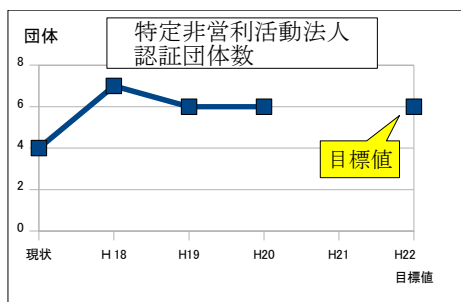
○今後の施策の展開

地域会議の活動を軌道に乗せ、主体的な地域づくりの取り組みを促進して、さらなる地域の発展と自立を協働で進めます。

広報紙・ホームページを活用して、ていねい・迅速に市政情報の提供することに加えて、市の取り組んでいる事業等を積極的に紹介し、市政への理解、参加を促します。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・市民と話す日や市政懇談会は重要。出された意見・要望をフィードバックさせ、双方向での運営を。
- ・地域会議での話題が道路などインフラに偏重していないか。協働の精神をどう活かすかが課題と思う。
- ・地域会議を住民の積極参加となるよう盛り上げていきたい。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：6 参画する心を育むまちづくり

施策1：⑱男女共同参画の推進

施策評価：低調に推移

○ 施策の進捗状況・課題等

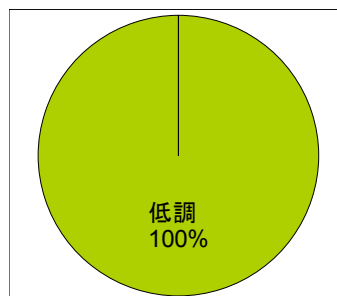
社会情勢、市民意識や前計画の進捗状況を踏まえて、「釜石市男女共同参画推進プラン」を策定しました。また、平成20年度の進捗状況をホームページで公開しました。

男女共同参画の啓発情報紙「れでいす・ねっとわーく」を作成し、関係者等への配付とホームページでの公開を行いました。

男女共同参画社会に向けた意識の啓発を図るため、男女共同参画セミナーや、思春期講演会を開催しました。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	0%	(0/1指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/1指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/1指標)
低調に推移(60%未満)	100%	(1/1指標)



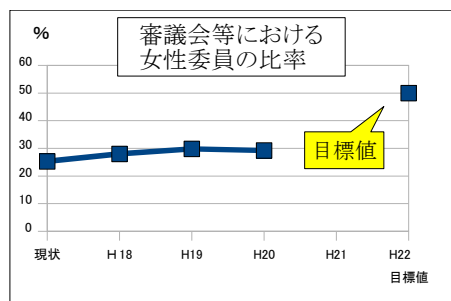
○今後の施策の展開

「釜石市男女共同参画推進プラン」の策定を受け、各種事業推進の動機付けに男女共同参画まちづくり市民大学を開催します。

男女共同参画サポーター等との協働により各種事業の展開を図ります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・市民意識が高まりつつあると思う。一般企業への啓発を。
- ・男女共同参画への意識づけにより、生活を活発化させ、生き生きとした社会を形成すると確信します。推進プランに基づき、たゆまず推進してほしい。



基本目標：3 創造性豊かな人を育むまち

政策：6 参画する心を育むまちづくり

施策1：⑱国際交流の推進

施策評価：目標値達成

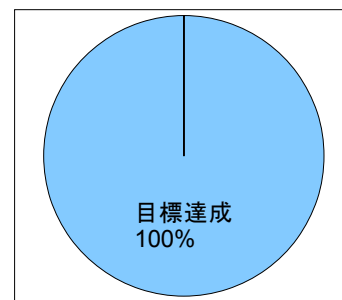
○ 施策の進捗状況・課題等

国際交流協会では、独自の事業を展開しており、協会員だけでなく一般市民も参加するなど、市民参加の国際交流が図られています。

ディーニュー・レ・バン市との交流については、現在は行われていません。

指標目標値の達成状況

目標値達成(100%以上)	100%	(1/1指標)
概ね達成(80%以上100%未満)	0%	(0/1指標)
順調に推移(60%以上80%未満)	0%	(0/1指標)
低調に推移(60%未満)	0%	(0/1指標)



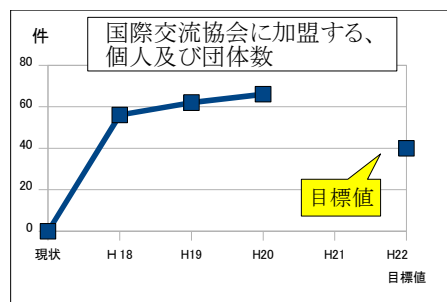
○今後の施策の展開

今後も民間主体の協会活動を推進します。

ディーニュー・レ・バン市との交流について、今後どうするか、市民の意見を伺う必要があります。

総合振興審議会委員の主な意見

- ・積極的に交流を行い、メリットを享受し、中学・高校生の意識の活性化に貢献してほしい。
- ・明確な目的を持って交流することが必要。
- ・さらなる活発な活動を期待する。



3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	摘要	今後の展開や達成度の低い理由など
活力ある産業のまちづくり	①効率的な土地利用	効率的な土地利用		1	地籍調査事業の進捗率 [%]	31.9	36.6	38.8	39.9	48.9	82%	面積換算	
				2	製造品出荷額等 [百万円]	87,305	100,764	111,806	122,937	93,599	131%	現状はH15	
	活力を生み出す工業の振興			3	創造的技術開発・経営革新認定件数 [件]	12	24	26	26	18	144%	累積値	
				4	異業種・企業間による研究開発実施件数 [件]	8	10	10	11	11	100%	累積値	
				5	産学官共同研究企業数 [社]	31	35	36	36	41	88%	累積値	
				6	新規就業者数(起業・誘致企業) [人]	149	230	242	242	500	48%	累積値	経済動向や雇用情勢を注視しながら、当市の個性を活かした企業誘致活動を推進していきたい。
				7	大型魚礁設置数 [箇所]	6	6	6	6	9	67%		漁礁設置要望の減少
				8	地先型増殖場造成箇所数 [箇所]	2	2	2	2	7	29%		漁礁設置要望の減少
	新鮮で安全な魚を供給する水産業の振興			9	漁業協同組合数 [団体]	3	3	3	3	0	0%		漁協経営基盤の格差の解消
				10	釜石魚市場水揚げ高(数量) [t]	15,894	18,619	20,440	19,534	16,250	120%		定置網漁業の不振
				11	加工生産量 [t]	8,795	7,639	—	—	10,000	0%	現状はH15	実績集計されていない
				12	主要共販物生産量 [t]	7,613	6,128	4,955	6,179	8,500	73%		
				13	漁港係船岸充足率(市管理漁港) [%]	58.0	64.0	76.5	76.5	68	113%		
	②産業の振興			14	農業産出額 [千万円]	45	47	47	—	47	0%	現状はH15	年度ごと統計調査終了。今後は農林業センサス(5年ごと)のみのデータ公表となる。
				15	1戸当たり生産農業所得 [千円]	335	277	323	—	400	0%	現状はH15	年度ごと統計調査終了。今後は農林業センサス(5年ごと)のみのデータ公表となる。
				16	農産物直売所開設数 [箇所]	9	9	9	9	10	90%		
				17	公共牧場の放牧頭数 [頭]	463	431	404	331	483	69%		
				18	シカ被害面積(農産物) [ha]	10.4	7.4	10.7	10.8	3	28%	現状はH15	シカの生息域の拡大、頭数増加により被害が拡大している。県の保護管理計画により対応している。

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	概要	今後の展開や達成度の低い理由など	
にぎわいと活力ある産業が展開するまち			ふる里林業の振興	19	シカ被害面積(材木) [ha]	25.0	0.5	4.4	12.9	10	78%	現状はH15		
				20	素材生産量(民有林・国有林) [m ³]	34764	33,018	45,040	49,714	60,000	83%			
				21	民有林林道密度 [m/ha]	4	4.0	4.1	4.1	7.7	53%			
				22	特用林産物生産量(乾しいたけ) [kg]	4934	5,500	3,150	-	10,000	0%	H20統計資料未発表。(H21.8月公表予定?)		
				23	特用林産物生産量(生しいたけ) [kg]	25,863	23,517	23,163	-	60,000	0%	H20統計資料未発表。(H21.8月公表予定?)		
			まちのにぎわいを創る商業の振興	24	商業販売額 [百万円]	88,018	88,018	78,133	78,133	79,153	99%			
				25	地元購買率 [%]	79.2	79.2	79.2	78.7	78.6	100%			
				26	中心市街地空き店舗率 [%]	9.8	17.4	16.1	16.1	9.8	61%	現状はH15		
			個性と能力を生かして働ける環境の充実	27	有効求人倍率 [倍]	0.48	0.62	0.53	0.49	1	49%	パート職含む		
				28	新規高等学校卒業者地元就職率 [%]	37.8	47.2	39.6	36.6	50	73%			
				29	働く婦人の家利用者数 [人]	18,947	19,691	20,606	20,060	22,509	89%			
			③新しい産業の創出	新しい産業の創出	30	新規事業創出件数 [件]	3	4	6	9	8	113%		
			④交流人口の創出	地域の資源を生かす観光の振興	31	観光客入り込み数 [千人]	885	947	1,084	936	1,000	94%	自然や鉄など特性を生かした観光の推進とともに、広域連携を進める。	
32	観光宿泊客数 [千人]	107			136	122	109	121	90%	観光施設と宿泊施設の連携を進める。				
33	農林漁業体験観光客数 [人]	804			1,439	1,221	2,089	1,200	174%	増加する需要に対応するため、受入態勢の充実を図る。				
34	観光ボランティア登録数 [人]	18			24	25	25	30	83%	累積値 養成講座、研修会の開催により、会員の拡大を図る。				
交流・連携のまちづくり	35	交流・連携を目的とした県外との広域連携件数 [件]		10	11	9	9	15	60%					
にぎわい			36	東部地区(大町地区)の人口 [人]	564	520	585	599	686	87%	釜石市人口動態資料			

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	摘要	今後の展開や達成度の低い理由など
わいのあるまちづくり	⑤魅力あるまちなみの整備	魅力あるまちなみの整備		37	地域交流イベント回数 [回]	3	5	18	19	10	190%		
				38	鈴子地区(区画整理地内)土地利用률 [%]	72.6	73.4	73.4	73.4	78.3	94%	累積値	
	⑥交流基盤の強化	交流を支える幹線道路の整備		39	盛岡市までの時間距離(国道283号経由) [分]	150	120	120	120	120	100%		
				40	水深7.5m以上の岸壁数(公共ふ頭) [バース]	1	3	3	3	3	100%		
		活気とうるいのある港湾の整備		41	ふ頭用地面積 [ha]	8.3	11.6	11.6	11.6	14	83%		
				42	釜石港貨物取扱量 [万t]	205	201.7	221.8	222.3	360	62%	平成21年度から釜石港内航フィーダーコンテナ定期航路の開設を予定しており、新たに発生する貨物による取扱量増大を見込んでいる。	
				43	完成自動車移出入量 [台]	28,771	23,071	23,870	25,409	48,000	53%	平成22年に予定されている東北地区への自動車産業の新たな展開などにより、これまで以上に関係企業へのポートセールスを強化し、利用拡大に努める。	
		地域の情報化の推進		44	インターネット人口普及率 [%]	36.2	-	-	-	70	0%	実績集計されていない	
				45	電子申請・届出サービス利用可能手続数 [件]	5	4	0	0	100	0%		
		⑦健康づくりの充実	健康の増進と疾病予防		46	健康であると思う人の割合 [%]	40.8	49.6	52.2	-	60	0%	※平成20年度健康意識調査(アンケート)未実施のため実績値なし
47	基本健診結果で異常がない人の割合 [%]				5.6	4.3	4.2	-	10	0%	※平成20年度から特定健康診査事業が実施されたことにより、基本健診対象者が生活保護受給者のみとなったため、これまでの数値との比較対照が不可能		
48	基本健康診査受診率 [%]				31.8	31.9	33.8	-	50	0%	※平成20年度から特定健康診査事業が実施されたことにより、基本健診対象者が生活保護受給者のみとなったため、これまでの数値との比較対照が不可能		
49	胃検診受診率 [%]				17.4	17.4	18.5	18.77	30	63%			
50	大腸検診受診率 [%]				18.3	19.1	21.1	21.57	30	72%			
地域医療の充実	51		入院(病院・一般病床)の圏域内完結率 [%]	84.1	81.2	81.2	-	90	0%	※保健福祉年報(岩手県)より最新データは平成18年度となるため平成19・20年度はデータなし			
地域で支えあう福祉のまちづくり			52	地域生活応援システム生活応援センターの設置 [箇所]	0	1	6	7	6	117%			
			53	福祉出前講座・福祉学習会の開催回数 [回]	9	10	18	39	24	163%			

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	摘要	今後の展開や達成度の低い理由など		
健康で安心して暮らせるまちづくり	⑧福祉サービスの充実	子どもを健やかに育む環境づくり		54	子育て支援センター設置数 [箇所]	2	2	2	3	3	100%		平成20年4月、市内3ヶ所目の子育て支援センター開所。		
				55	病後児保育実施数 [箇所]	0	0	0	0	1	0%		平成21年10月、社会福祉法人委託により病後児保育事業開始。		
				56	保育所入所待機児童数 [人]	40	22	13	2	0	95%				
		高齢者が暮らしやすいまちづくり				57	小規模多機能居宅介護拠点の整備 [箇所]	0	0	0	0	3	0%		
						58	高齢者における介護予防事業への参加者数 [人]	2,264	2,355	2,504	2,295	2,500	92%		
						59	緊急通報装置の設置数 [箇所]	194	164	152	141	300	47%		
						60	介護予防の地域活動自主グループ数 [団体]	5	11	12	13	14	93%		
		障がい者が自立して参加できるまちづくり				61	シルバー人材センターに登録している高齢者の割合 [%]	4.2	3.8	3.4	3.2	5	64%		
						62	ホームヘルプサービス利用時間数 [時間/年]	4,716	3,149	3,373	3,916	6,272	62%		
						63	障がい者雇用率 [%]	1.94	2.18	1.63	1.63	3.24	50%		
						64	障がい者就業支援施設定員数 [人]	88	80	80	80	98	82%		
						65	グループホーム数 [箇所]	2	3	3	3	5	60%		
		すべての人に優しい快適なまちづくり	⑨生活の安全確保		災害に強いまちづくり	66	自主防災組織率 [%]	31.5	33.7	35.3	35.3	44	80%		
						67	防災避難路整備率 [%]	12.8	23.3	24.7	28	55	51%		
68	地域防災拠点施設整備箇所数 [箇所]					18	20	20	20	21	95%				
69	救急救命士数 [人]					13	14	16	15	18	83%				
70	消防水利充足率 [%]					88.6	90.5	91.4	92	89	103%				
71	消防団員の充足率 [%]					83.3	82.4	81.9	79.5	86.3	92%				

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	概要	今後の展開や達成度の低い理由など		
まち				72	土石流危険渓流整備率 [%]	11.2	10.4	10.4	10.8	18	60%				
				73	急傾斜地崩壊危険箇所整備率 [%]	17.6	18.5	18.5	18.5	24	77%				
				74	交通事故発生件数(人身事故) [件]	153	135	114	118	120	102%				
				75	刑法犯罪発生件数 [件]	271	204	218	206	200	97%				
	快適な環境のまちづくり	⑩自然環境の保全	環境の継承とふれあいの創造		76	水質環境基準の達成率 [%]	80.0	87.5	87.5		100	0%	現状地は15年度	H21.8現在未公表(環境省)	
					77	ハイブリット車の市内販売台数 [台]	75	125	161	185	200	93%	市内販売店販売数		
					78	自然観察会の参加人数 [人]	242	147	156	188	300	63%	市主催観察会		
		⑪生活環境の充実	快適な住まいの環境づくり			79	市民一人当たりの住宅延床面積 [㎡]	38	-	-	41	42	98%	国勢調査	H7-34、H12-38、H17-41と国勢調査を行うたびに面積が増えている。
						80	公営住宅の高齢化仕様率 [%]	6.7	6.7	14.5	14.5	18.1	80%		平成21年度に大只越24戸の建設で目標値を達成する。
						81	耐震性が確保された住宅数 [戸]	4,000	4,004	4,012	4,024	4,100	98%	住宅・土地統計調査からの推計値	木造住宅耐震補強工事助成事業を継続して行うことで、耐震性が確保された住宅が増える。
82						都市公園内トイレ水洗化数 [箇所]	3	3	3	3	7	43%	累積値		
生活衛生の向上						83	水道普及率 [%]	93.2	94.4	94.4	94.5	94	101%		
						84	上水道有収率 [%]	83.9	84.8	81.3	82.1	85	97%		
						85	下水道人口普及率 [%]	52.6	53.9	54.6	55.9	62.2	90%		
				86	浄化槽設置整備事業の整備人口 [人]	3,659	3,926	4,056	4,203	4,820	87%	累積値			
				87	ごみ排出量 [t/年]	20,484	20,153	18,198	18,290	19,460	106%	資源ごみを除く			
				88	ごみのリサイクル率 [%]	23.8	26.8	26.1	26.4	24.2	109%				
				89	市道改良率 [%]	59.4	59.6	59.7	59.9	60	100%				

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	概要	今後の展開や達成度の低い理由など
創造性豊かな人を育むまち	学び育てるまちづくり	⑫交通ネットワークの整備	暮らしを支える道路網の整備	90	市道舗装率 [%]	53.7	53.6	53.7	53.5	57	94%		
				91	市道の歩道設置延長 [m]	24,134	25,285	26,322	26,880	25,100	107%		
			公共交通体系の整備	92	市民一人当たりのバス利用回数 [回]	34	32.2	29.6	29.9	30	100%		
				93	市内バス路線数 [系統]	36	21	21	20	36	56%		
	⑬学校教育の充実	学校教育の充実	94	預かり保育を実施する市立幼稚園の数 [園]	0	1	2	2	2	100%			
			95	小学校数 [校]	15	14	12	12	12	100%		目標達成済み。なお、白浜小学校及び尾崎小学校が学校統合により閉校し、平成22年4月1日付けでは10校となる。	
			96	中学校数 [校]	8	6	5	5	5	100%			
	⑭社会教育の充実	社会教育の充実	97	生涯学習関係講座への参加総数 [人]	14,718	18,752	21,520	22,145	22,000	101%			
			98	生涯学習関係講座の実施回数 [回]	506	946	974	1348	790	171%			
			99	市民一人当たりの図書館貸出冊数(年間) [冊]	1.5	2.1	2.1	2.3	3	77%			
	⑮芸術・文化の振興	芸術・文化の振興	100	自主文化事業入場者数 [人]	6,912	6,398	4,767	7,719	7,000	110%	現状地は15年度		
			101	市民一人当たりの市民会館利用回数(年間) [回]	2.4	2.3	2.3	1.9	3	63%	現状地は15年度	平成20年度実績の減は、平成19年度に開催された市制施行70周年や近代製鉄発祥150周年事業での利用や物販関係での利用が減ったため	
			102	郷土資料館利用者数 [人]	4,543	5,299	5,679	5,368	9,000	60%	現状地は16年度		
	⑯生涯スポーツの振興	生涯スポーツの振興	103	市民一人当たりのスポーツ施設利用回数(年間) [回]	7	7	8	7	17	41%			
			104	週に1回以上スポーツを行った人の割合 [%]	27.0	27.0	30.0	27	55	49%			
			105	総合型地域スポーツクラブ登録者数 [人]	3,220	2,978	2,662	2,691	7,000	38%		既存クラブ(唐丹すぼこんクラブ及び釜石シーウェイブスRFC)への支援を継続して行うとともに、新たな総合型地域スポーツクラブ設立については、その必要性を含めた検討を進める。	
	参画する心	⑰住民参加の地域づくり	住民参加の地域づくり	106	特定非営利活動法人認証団体数 [団体]	4	7	6	6	6	100%	累積値	
107				市政懇談会の参加者数 [人]	349	439	335	633	400	158%			

3-② 指標の一覧

基本目標	政策	施策1	施策2	No.	主要な指標 [単位]	現状 (H16)	H18実績	H19実績	H20実績	目標値 (H22)	達成度 ③/①	摘要	今後の展開や達成度の低い理由など
	を育むまちづくり			108	意見募集に対する意見数 [件/回]	1	4	2	4	10	40%		意見を募集する案件により、意見数にばらつきがある(最大10件、最小0件)。案件に対する市民の関心を高めるように工夫して広報紙・HPに記事掲載する。
		⑩男女共同参画の推進	男女共同参画の推進	109	審議会等における女性委員の比率 [%]	25.3	28.0	29.8	29.2	50	58%		積極的な登用に努める。
		⑪国際交流の推進	国際交流の推進	110	国際交流協会に加盟する、個人及び団体数 [件]	0	56.0	62.0	66	40	165%		

※1 達成度について

「主要な指標」の第五次釜石市総合計画の最終年度である平成22年度の目標値に対する達成度とし、 $(H20の実績値) \div (H22の目標値)$ により算出しています。ただし、数値の減少が目標となっている指標(主要な指標のセルが黄色の背景色もの)については、逆に $(H22の目標値) \div (H20の実績値)$ となっています。また、0を目標とする指標は、実績値と現状値の差を現状値で割り、算出しています。

※2 対象外指数について

対象外指数となるものについては、「H20実績」のセルの背景色を緑にし、「今後の展開や完成度の低い理由など」の列に理由を記載しています。

4. 「優先プロジェクト」の指標による評価

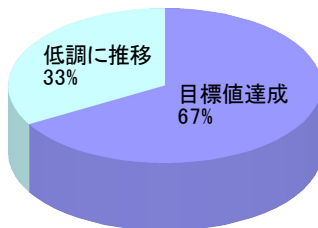
釜石市総合計画後期基本計画においては、厳しい財政状況が見込まれることから、優先的に取り組む施策を絞り込み、それを優先プロジェクトとして実施していくこととしております。そこで施策評価と併せて4つの優先プロジェクトについても「主要な指標」により評価するものとします。

順調に推移

4つの優先プロジェクトについては、13の指標のうち「目標値達成」、「概ね達成」、「順調に推移」の3つの割合が85%であり、順調に推移と評価します。

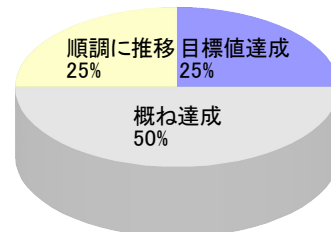
雇用

主要な指標	H22 目標値	H20 実績値	達成度	達成状況
新規就業者数(起業・誘致企業)	500	242	48%	低調に推移
新規事業創出件数	8	9	113%	目標値達成
製造品出荷額等	93,599	122,937	131%	目標値達成



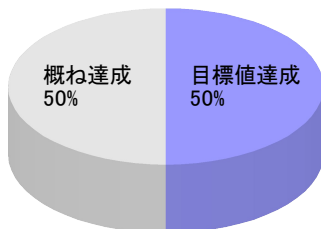
にぎわい

主要な指標	H22 目標値	H20 実績値	達成度	達成状況
東部地区(大町地区)の人口	686	599	87%	概ね達成
地域交流イベント回数	10	19	190%	目標値達成
中心市街地空き店舗率	9.8	16.1	61%	順調に推移
観光客入り込み数	1,000	936	94%	概ね達成



健康

主要な指標	H22 目標値	H20 実績値	達成度	達成状況
健康であると思う人の割合	60.0	-	0%	実績値なし
基本健診結果で異常がない人の割合	10.0	-	0%	制度の変更
高齢者に占める要介護・要支援認定者の割合	17.6	16.9	96%	概ね達成
生涯学習関係講座への参加総数	22,000	22,145	101%	目標値達成



防災

主要な指標	H22 目標値	H20 実績値	達成度	達成状況
自主防災組織率	44.0	35.3	80%	概ね達成
防災避難路整備率	55.0	28.0	51%	低調に推移
急傾斜地崩壊危険箇所整備率	24.0	18.5	77%	順調に推移
耐震性が確保された住宅数	4,100	4,024	98%	概ね達成

